

平成3年度
フィリピン共和国
フィリピン稲研究所計画
実施協議調査団報告書

平成4年3月

国際協力事業団

平成三年度フィリピン共和国フィリピン稲研究所計画実施協議調査団報告書

平成四年三月

118
841
ADT
LIBRARY

農開技
JR
92-22

国際協力事業団

25665

JICA LIBRARY



1109829(01)

序 文

国際協力事業団は、フィリピン共和国政府の要請を受け平成2年4月フィリピン稲研究所計画に関する事前調査を実施し、その調査報告を踏まえ、平成4年3月12日から3月22日まで当事業団理事・田口俊郎を団長とする実施協議調査団を現地に派遣しました。

同調査団は、フィリピン共和国政府関係者と実施のための協議を行い、討議議事録（R/D）及び暫定実施計画の署名交換を行いました。その結果、本プロジェクトを、平成4年8月1日から5か年間の計画で実施することとなりました。

本報告書は、同調査団による協議結果等を取りまとめたものであり、今後、本プロジェクトの実施にあたり広く活用されることを願うものです。

終わりに、この調査にご協力とご支援をいただいた内外の関係各位に対し、心より感謝の意を表します。

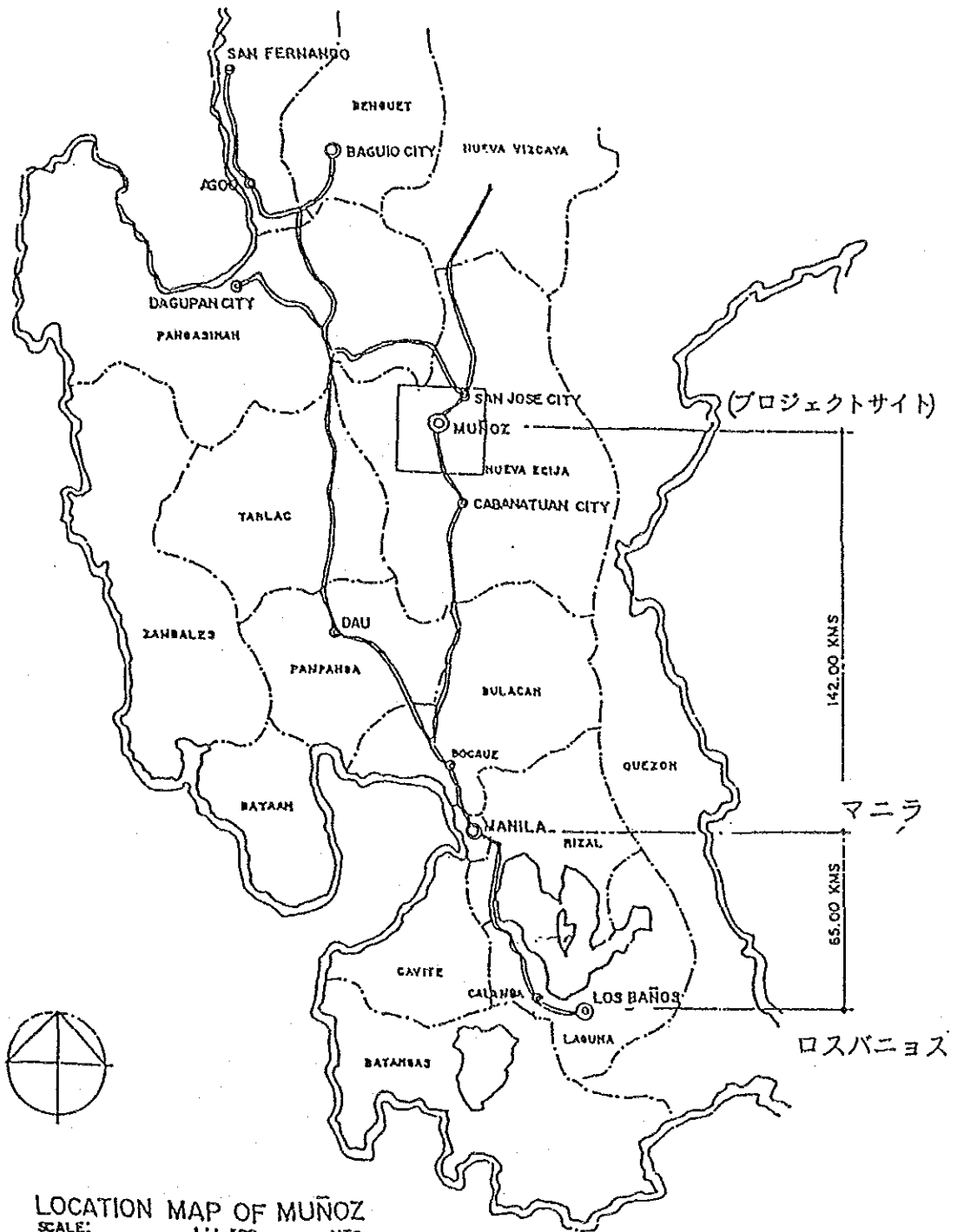
平成4年3月

国際協力事業団

農業開発協力部

部長 有川通世

フィリピン稲研究所位置図





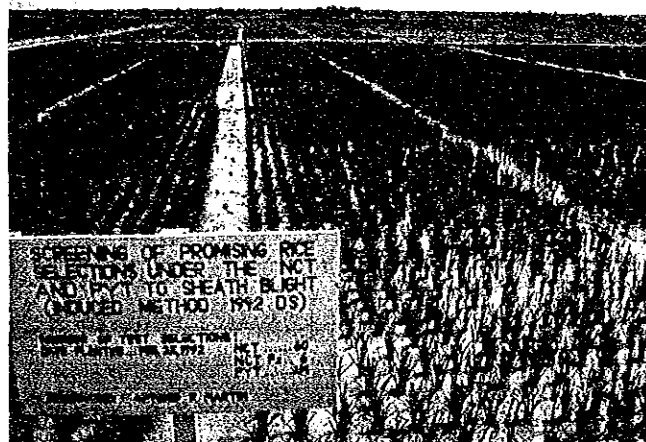
▲ フィルライス本棟
 (無償資金協力により1991年3月完成)



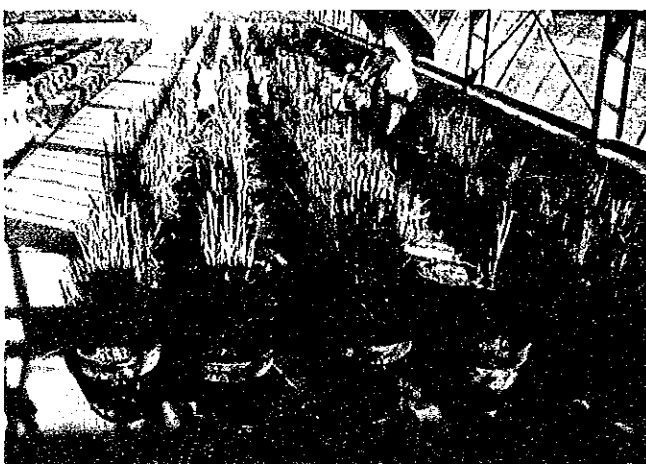
▲ R/D 署名
 (前列左より オビエン所長、ランティン次官補、
 田口研長、高橋団員、清水団員)



▲ バカニ農業大臣表敬



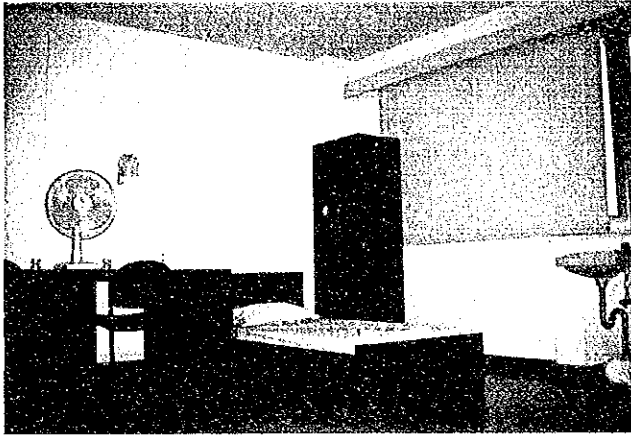
▲ フィルライス実験圃場



▲ フィルライス グリーンハウスでのポット試験
 (ピナツポ火山灰の生育試験)



▲ フィルライス研究施設視察
 (食味研究室)



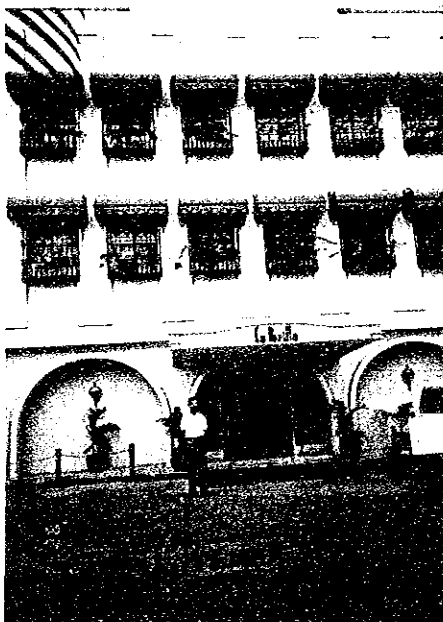
▲ フィルライスドミトリー
(研修員用4人部屋)



▲ カバナッアン市の住宅



◀ フィルライスワークショップ



▲ カバナッアン市のホテル



▲ カバナッアン市のスーパーマーケット

目 次

序 文
位 置 図
写 真

1. 実施協議調査団派遣の経緯と目的及び結果概要	1
1-1 経緯と目的、結果概要	1
1-2 調査日程	2
1-3 調査団の構成	3
1-4 主要面会者リスト	3
2. 分野別調査結果報告	5
2-1 研究計画	5
2-2 品種育成	8
2-3 土壌肥料	9
2-4 技術協力	12
附 属 資 料	
1. 討議議事録（和訳）	15
2. 暫定実施計画（和訳）	24
3. 討議議事録	28
4. 暫定実施計画	38
5. プロジェクト実施に関するレター（日本側→フィリピン側）	42
6. プロジェクト実施に関するレター（フィリピン側→日本側）	43
7. PhilRice ネットワーク	46
8. PhilRice 組織図	48
9. PhilRice 予算計画	51
10. PhilRice スタッフ一覧	53
11. PhilRice スタッフ研修計画	60

1. 実施協議調査団派遣の経緯と目的及び結果概要

1-1 経緯と目的、結果概要

(経緯と目的)

フィリピン国政府は、中期開発計画（1987～1992年）の中で、農業・農村分野を開発の最重要分野として挙げており、国民の主食であると同時に、農村住民の生計を支える経済の基盤でもある米の生産増大に努力してきた。

これまでフィリピン国における稲作技術に関する研究開発は、大学・地方農業試験場等で個別に行われてはいるが、国際稲研究所（IRRI）の技術開発に依存してきたため、国内の研究体制は遅れが目立つ現状にある。

このような状況のもと、フィリピン国政府は多様な農業条件に適応した稲作研究開発、米の生産性向上及び普及・研修活動を推進するため、すでに1985年11月に設立されていたフィリピン稲研究所（PhilRice）の活動を本格化すべく、まずは施設の整備にかかわる無償資金協力を要請してきた（1988年6月）。これに対し我が国は約22.6億円の援助を行い、研究施設、機材、宿泊施設の整備が実現した（1991年3月）。さらに研究所の効率的運営、研究水準の向上等のためプロジェクト方式技術協力を要請してきた（1989年6月）。

この要請に基づき1990年4月、プロジェクト方式技術協力の事前調査を実施し、その要請内容を確認、また、1991年5月には長期調査を実施し、協力内容等につき調査するとともに、相手側関係機関とも協議を行った。

本調査団は、上記調査の結果を踏まえ、協力内容に係る協議を行うとともに協力の基礎となる討議議事録（R/D）、暫定実施計画（TSI）の署名交換を行うために派遣されたものである。

(結果概要)

1. フィリピン側の要請内容に比べ日本側R/D案が、協力内容でかなり範囲を限定したのとなったことから協議、署名は困難が予想されたが、協議は円滑に進み、日本側提案の内容で合意が得られ、田口俊郎団長とM. M. Lantin 農業省研究・訓練・普及担当次官補との間で、1992年3月18日、R/D及びTSIの署名交換を行った。
2. 協力期間については、1992年8月1日から5年間とした。
3. 専門家の安全については、団長レターでフィリピン稲研究所所長に対し要望し、所長からの返信で種々の措置がとられることを確認した。

1-2 調査日程

派遣期間 平成4年3月12日～3月22日(11日間)

日順	月日	曜日	活 動 内 容	宿 泊 地
1	3/12	木	(午前) 成田発————→マニラ (JL-741) (午後) JICA 事務所打合せ	マニラ
2	13	金	(午前) 農業省表敬(大臣) (午後) 日本大使館表敬 国家経済開発庁表敬	マニラ
3	14	土	団内打合せ	マニラ
4	15	日	(午前) マニラ————→カバナツアン 途中ピナツボ被災地視察 (午後) カバナツアン住宅事情調査	カバナツアン
5	16	月	(午前) PhilRice 表敬、施設・圃場視察 (午後) PhilRice との協議(1)	ムニョス
6	17	火	(午前) PhilRice との協議(2) (午後) ムニョス————→マニラ	マニラ
7	18	水	(午前) R/D、TSI 署名交換 (午後) 協力開始までのスケジュール打合せ	マニラ
8	19	木	調査結果整理	マニラ
9	20	金	(午前) 調査結果整理 (午後) JICA 事務所、大使館報告	マニラ
10	21	土	調査結果整理 田口団長、清水団員スリ・ランカへ	マニラ
11	22	日	マニラ————→成田 (NW004)	

1-3 調査団の構成

氏名	担当業務	現職
田口俊郎	総括	国際協力事業団 理事
高橋均	研究計画	農林水産省農業研究センター 総合研究官
秋山豊	土壌肥料	農林水産省農業研究センター 水田土壌肥料研究室長
加藤浩	品種育成	農林水産省農業研究センター 稲育種法研究室 技官
清水武男	技術協力	国際協力事業団農業開発協力部 農業技術協力課長
坪井達史	業務調整	国際協力事業団 特別嘱託

1-4 主要面会者リスト

1) フィリピン農業省 (Department of Agriculture, DA)

Dr. Senen C. Bacani	Secretary of Agriculture (農業大臣)
Dr. Manuel M. Lantin	Assist. Secret. for Res. Tra. and Ext.
Ms. Cecilia Astillas	Project Development Officer, IADCCO
佐分利 重隆	JICA 派遣専門家, IADCCO

2) 国家経済開発庁 (National Economic and Development Authority, NEDA)

Dr. Ernesto D. Bautista	Director, Public Investment Staff
Mr. Paulo Rodelio M. Halili	Staff, Public Investment Staff

3) フィリピン稲研究所 (PhilRice)

Dr. Santiago R. Obien	Executive Director
Mr. Ronilo A. Beronio	Deputy Director
Engr. Vicente C. Rodriguez	Asst. to the Director for Operations
Ms. Eleanor L. Retales	Head, Administrative Division
Dr. Rex L. Navarro	Manager, Technology Transfer Depart.
Dr. Danilo C. Israel	Head, Social Science and Policy Research
Dr. Pompe C. Sta. Cruz	Head, Soils, Agronomy and Physiology

Mr. Hilario C. dela Cruz	Head, Plant Breeding and Biotechnology
Mr. Florentino M. Olivares	Head, Crop Protection
Mr. Rolando O. Retales	Head, Rice-Based Farming Systems
Engr. Eulito U. Bautista	Head, Rice Engineering and Mechanization
Ms. Leslie T. Roferos	Head, Rice Chemistry and Food Science
Mr. Constante T. Briones	Head, Technology Transfer-Communication
Ms. Zyla C. Macasieb	Head, Technology Transfer-Training
Dr. Teodula Metra	Supervising Sci. Res. Specialist
Dr. Hoai Xuan Truong	Research Fellow, Crop Protection
Ms. Virginia F. Recta	Head, Planning and Collaborative Programs
Ms. Thelma F. Padolina	Sci. Res. Specialist, Plant Breeding
Ms. Luz Belen Prollamante	Head, Personnel Section
Mr. Nestor C. Martin	Head, Accounting Section
Ms. Gloria Evangelista	Head, Cash Section
Ms. Amelita Hidalgo	Head, Records Section
Arch. Rene Bajit	Head, Infrastructure Section

4) 日本大使館

村山比佐斗	公使
松田祐吾	一等書記官 (経済班)

5) JICA フィリピン事務所

飯島正孝	事務所長
竹内喜久男	次長
吉田勝美	所員 (担当)

2. 分野別調査結果報告

2-1 研究計画

2-1-1 実施体制

(1) 人員配置（附属資料10.を参照）

管理部門の管理者層は概して優秀な人材が配置されている。主な管理者の概評は以下のようである。

所長：Dr. Santiago R. Obien —— 専門は作物保護（昆虫、雑草）で、フィリピン国内の稲研究をリードする極めて有能な指導者である。

副所長：Mr. Ronilo A. Beronio —— 経済学が専門で、比較的若い（50歳未満？）が、所長の良き補佐役を務めている。

研究運営補佐官：Engr. Vicente C. Rodriguez —— 専門は農業工学、温厚な人柄、かつて日本（横浜）での技術研修の経験がある。

庶務課長：Ms. Eleanor L. Retales —— 極めて優れた所内運営役であり、所長秘書役も務める。

研究企画科長：Ms. Virginia F. Recta —— 極めて有能。ただし研究の発案ではなく、研究各部の提案を整理、あるいは所長の意を受けての資料準備等が主な業務となっている。

技術普及部マネジャー：Dr. Rex L. Navarro —— 年功は積んでいるが、RhlRice 奨学金による博士課程を昨年終了したばかり。精力的な活動家。

技術普及研修課長：Ms. Zyla C. Macasieb —— 30歳前後か（？）、張り切っている。

技術普及情報課長：Mr. Constante T. Briones —— 青年課長で気力・体力十分。

(2) カウンターパートの質

1) 研究計画に関しては、所長、副所長が直接的なカウンターパートになるが、前述のとおり、質を備えており、全く問題はない。それを支える研究部の各部長も十分な経験を持つ人材が揃っているので、まずは問題ない。

2) 研修計画に関しては、技術普及部マネジャー、普及研修課長及び普及情報課長が対象になるが、博士課程・修士課程を経て、新しい分野への意欲を燃やしているので、問題はないと思われる。

(3) 短期専門家の必要性

1) 研究計画に関しては、現時点では短期専門家の必要性はないと思われるが、将来は研究情報の管理が問題になると想定される。

2) 研修計画については、視聴覚教育用資機材の効果的な活用方法など、研究職の長期専門家ではカバーできない領域があるので、短期専門家の派遣が必要となろう。

(4) 国内委員会

専門家のリクルート、関連研究情報の収集等の支援を確実にする意味での国内委員会は、設置されるほうがベターである。

(5) 施設機械

パソコン、タイプライター、オーディオ・ビデオ装置、印刷機械、製本機械等は休む間もなく有効に活用されている。

(6) その他

2-1-2 実施計画

(1) 実施方針

研究・研修計画

イ) 研究計画の策定

ロ) 効率的な研修事業計画の策定

(2) 実施の手順

研究・研修計画

イ) 研究計画の策定

① 研究基本計画の策定

② 共同研究実施基準の策定

③ 研究成果の評価方法の策定

ロ) 効率的な研修事業計画の策定

① 対象者の訓練内容及び訓練手法の基準策定

② 訓練効果測定・評価方法の策定

③ 研修資機材の効率的利用

(3) 部門別優先度

研究・研修計画

イ) とロ) は並行し、イ) の中では①が最優先となる。ロ) の中では①と③がタイアップして先行、引き続いて②となる。

2-1-3 その他特記事項

(1) 試験圃場

100ha 近い試験圃場のほとんどは、乾季作の水稲と作付体系研究の乾季畑作物が作付けられていた。圃場内作物の生育は斉一であり、雑草・病害虫等がよく防除され、管理の行き届いていることがうかがわれた。IRRI の試験圃場よりも見事な情景であった。このこ

とは、全体が熱心であり、また指導が末端まで徹底していることを物語っているといえよう。

ちょうど、IRRIから副所長を団長とする訪問団があり、IRRIよりもPhilRiceの稲の生育が良いことを認め、IRRIのスタッフをこちらへも送り込みたいとの要望があったという。

(2) PhilRice 職員宿舎の建設・修理

PhilRiceでは専任職員が急増して、宿舎数の不足が大きな問題であった。現在は予算が確保されて、宿舎の新築が急ピッチに進んでいる。

また、旧稲作試験場時代の宿舎は相当に古びており、これの改修も並行して進められている。これらによってPhilRice職員の住宅事情は格段に改善されることが見込まれる。

(3) 専門家の宿舎について

PhilRice構内にはゲスト・ルームが5部屋あって、そこを利用することは可能である。しかし、家族がそこに同居することはできない。また、単身の場合であっても、食事を含めて生活環境の単調さから、そこに長期間にわたって居を構えることは不可能である。短期の専門家であっても、シャワーに温水設備がないこともあり、臨時的な利用の範囲にとどまることになろう。

一方、PhilRiceが所在するムニョスの町にはホテルもないし、貸家もない。買い物をする商店街もなく、田舎のみすぼらしい店があるのみである。そのため、PhilRiceに比較的近い位置で、最良の地を求めようとする、約30km マニラ側に寄ったカバナツアンの町になる。ここにはホテルもある。また、借家も可能である。

しかし、やはり田舎の町であるから、水準の低い生活に耐えることを強いられよう。家族同伴の場合には子供の教育(学校)をどうするかが最大の問題となる。また、生活情報、日本の情報等の入手は極端に乏しくなるし、食生活面でも新鮮な魚介類や青果物がないので、耐乏生活となることは必至である。したがって、この耐乏生活を緩和する措置としてマニラでの情報収集、ストレス解消、生活物資の購入、数人の日本人小社会からの解放や、とくに子供の学校教育等に加え、公務上の出張も頻繁にあることを考慮すると、マニラの“居”をどうするかは重要な問題である。

そこで、単身か家族同伴か、家族同伴でも家族の状態により、マニラを本拠にしてカバナツアンを仮住まいにするか、あるいはカバナツアンを本拠にしてマニラを仮住まいにするか、は異なるところだが、いずれにしても大変わずらわしいことではあるが、両方の住まいを考えに入れる必要がある。そのため、生活費が大きくかさむことになることは避けられない。

(4) 通信網

フィリピン国内の電話回線の状況はかなり不良である。このためムニョス～マニラ間の通信は容易でない。PhilRiceには2本の外線番号と1本のテレックスが設けられてはいるが、マニラとのつながりは円滑ではない（そこでPhilRiceは農業省との間に無線を設置したという）。この状態を改善して、とくにJICA事務所との通信を可能にするためには、無線電話の設置が最善の方策と考えられる。今後検討すべき課題であろう。

2-2 品種育成

2-2-1 実施体制

(1) 人員配置及びカウンターパートの能力

育種部門（Plant Breeding Division）には、デラクルツ（Mr. Hilario C. dela Cruz）、パドリナ（Mrs. Thelma F. Padolina）、ララ（Mr. R. J. Lara）の3人の研究者が専任として勤務している。もう1人フィリピン大学農学部（UPLB）からパートタイムで時どき来る人がいるが、今回は会えなかった。デラクルツ氏は52歳で育種部の長であり、過去にフィリピンの育種関連の賞をもらっている。分担は平低肥沃地向き品種の育成である。日本の内原にいたことがあり、片言の日本語話すことができ、穏やかで、人の好きそうな人である。パドリナさんは地元ムニョス付近の出身で、分野としては高地の低肥沃度地域向きの育種を担当している。4人の子供の母で、ご主人は稲作農家である。ララ氏はハイブリッド稲の育種を担当している。年齢は3人のうち一番若く、32歳である。

パドリナさんとララ氏は遺伝学的なバックグラウンドがありそうである。しかし、3人とも活発な育種事業に従事したことはないと思われ、フィリピン稲研究所では効率的な育種の流れが出来上がっていなかった。

交配には6、7人が来ていた。鳥害防止のため鳥を追う人を含めて、圃場作業員は十分な人数が確保できていると思われる。

(2) 育種事業の規模

系統は約600、雑種集団50～60（F2～F4を各世代400個体程度で、F4から個選をしているらしい。このへんの数値は何回聞いても、育種系統数と品種保存数を混同していたりで、あまり詳しく教えてくれず、早朝に勝手にこちらで数えた数値なので確実でない）。

交配や選抜などの本来の育種事業は、これまで、あまり力を入れてこなかったようである。育種の使用面積16haのうち95%以上を単に採種圃として使用している（種子の配布事業を行っているため）。最近の新品種4品種PSB Rc-1～4もIRRIの品種に名前を付けただけなので、本来の育種は、これから始めるところである。

(3) 短期専門家の必要性

薬培養は、行う施設が完備し多少の実験を行っているので、もし必要と思われる場合に

は短期専門家を派遣してもよいと思われる。

(4) 施設

育種で使用している圃場は16haで、かなり良く整備されている。吸引式の除雄機が6台（1台で数人が利用可能）、虫から隔離するための網室（雑種集団の維持によい）、耐病虫性検定圃場（育種部門の圃場ではない）、温室2室（野生稲との雑種を維持）、食味検定室（小型炊飯器多数あり）、約10m×10mの低温種子庫（5℃、湿度40%）にかなり空きあり。全体に、従米型の育種をするための施設は良く整っているといえる。加えて、組織培養なら十分可能な施設もある。

(5) その他

IRRIが協力を表明しており、もし育種途中の雑種集団や初期系統の分譲を受けられれば、より早期の育種が可能である。加えて、赴任2、3年目では通常なら雑種集団しかない状況となるが、分譲を受ければ育種を行っている態勢が整うので、育種技術の伝授という意味でも好条件である。出来る限り早期に熱研の池田氏を通じてか、あるいは直接IRRIの育種部長 Dr. Khush と連絡をとり、協力を仰ぐべきだと思う。

2-2-2 実施計画

(1) 実施方針及び手順

交配を主体とした従米型の育種で、平低肥沃地域で10ton/haの収量をあげる品種を育成することと、高地低肥沃度地域での新品種の育成を目的としている。デラクルツ氏は、IRRIのKhushが提唱している「大粒・密粒・高登熟歩合で粗分けつ品種」を育成すればよいのではないかと考えていた。しかしながら、これが実証されているわけでもないので、日本の育種の専門家が自由に考えて育種を行ってよいと思われる。

(2) 部門別優先度

フィリピン稲研究所が立地している場所がフィリピンの代表的な穀倉地帯である平低地域であることから、平低地域向きの育種を優先させるほうが得策と思われる。しかし、カリंगा（高度2,000m）、バナウエ（高度1,200m）、バギオ（高度1,200m）など高冷地の支場が幾つかあり、体制上、系統試験を引き受けてくれることになっているので、うまくいけば高地向けの品種も育成できるかもしれない。

2-2-3 機材供与

育種分野の機材は十分であると考えられる。さらに、種子袋、ラベルなど育種特有の消耗品が大量に必要だが、現地調達が十分可能であると思われる。

2-3 土壌肥料

2-3-1 組織（実施体制）

(1) 人員配置

Dr. Pompe Sta Cruz (Crop Physiology)	常勤
Dr. Teodula Metra (Soil Chemistry)	常勤
Mr. Joulyn Baji (Soil Fertility)	常勤
Dr. Juliana Dacoyo (Soil Fertility)	非常勤

以下研究者 11名

合計 15名

(2) カウンターパートの質

上記 P. S. Cruz (作物生理) と T. Metra (土壌化学、女性) の 2 人が長期専門家 (土壌関係) のカウンターパートとなる予定。P. S. Cruz 氏はこれまで IRRI で日本人作物関係専門家のカウンターパートの経験がある。

(3) 短期専門家の必要性

異なる気象条件下での生育予測モデルを作成するには短期専門家の支援が必要になると思われる。

(4) 国内委員会の必要性

現段階では、とくに必要はないと思われる。

(5) 施設

実験室、会議室、製本室等はかなり整備されているが、図書館の蔵書は少ない。

(6) その他

- ① 備品は機材供与によるものが大部分で使用状況は良好 (機材供与参照)。なお、Phil-Rice には大型乾燥機がないとのことで、購入希望があった。
- ② 圃場のスペースは十分にある。

2-3-2 実施計画

(1) 実施方針

土壌肥料関係の協力活動は次の 2 課題について実施する (R/D)。

- a) 地域農業生態系に適応した効率的施肥管理技術の開発
 - b) 施肥水準別生育モデルの構築
- a)、b) とともに気象条件 (気温、降雨量)、土壌条件との関連で実施する。

(2) 実施の手順

1) 既往データの収集・整理

- イ. 主要生産地における水稻施肥法の概要把握
(施肥量、回数、気温、土壌等)
- ロ. 主要品種の生育特性の概要把握

(草型、生育パターン、収量等)

2) 実験計画の設定と試験の実施

イ. 有望供試品種の選択と作期の決定

ロ. 処理区(施肥水準、追肥の割合等の組合せ)の設定

ハ. 調査、測定項目の決定(生育パターン、窒素吸収パターン、収量等)

ニ. 試験結果の解析・整理

これら1)、2)はいずれもカウンターパートと協議のうえ行う。

現在 PhilRice で行われている施肥試験では、処理数、試供品種とも非常に多く、能率を上げるためには、処理数を減らすとともに、供試品種を絞り込む必要がある。

(3) 部門別優先度

(1)-a) の課題から着手し、データの蓄積される後半で短期専門家の協力を得て(1)-b) の課題を実施するのがよいと思われる。

(4) その他特記事項

(1) 計画の実施にあたってはカウンターパートと十分協議し、合意を得て行う必要がある。

(2) 専門家の居住環境の整備(給湯設備等)が望ましい。

2-3-3 機材供与

PhilRice における JICA 供与備品使用状況及び PhilRice 側追加購入希望調査(栽培、土壌関係)

1992年3月16日現在

(1) 備品使用状況

供与備品28品目中

使用されているもの……………23点

使用されていないもの……………5点

使用されない理由は①型式が使いにくい1点(オーガー)

②まだ使用の機会がないもの4点

(貫入計、テンションメーターなど)

(2) 1992年度で追加購入を希望する備品(数字は優先順位)

1) 原子吸光用カソードランプ(日立Z-6100用)

① アルミニウム(Al)用

② ホウ素(B)用

③ モリブデン(Mo)用

④ ニッケル(Ni)、コバルト(Co)用

⑤ 水銀(Hg)用

価格①～⑥各 \$ 320……………推定価格

2) 大型乾燥機 Oven (Yamato DN - 91)

価格 \$ 1,300……………推定価格

3) 薬品棚 (耐酸型)

Acid resistant type cabinet 価格 未詳

4) 上棚式テーブル

Top-shelves table 価格 未詳

2-4 技術協力

2-4-1 技術協力内容について

本プロジェクトの具体的な技術協力内容については、今回締結した討議議事録 (Record of Discussions) の附表 I ~ VII に詳細に記載されており、さらに、同時に締結した暫定実施計画 (Tentative Schedule of Implementation) において5か年間の年次別協力活動が示されているが、本プロジェクトが他のプロジェクトに比べて特に異なっている点は次の点である。

(1) 技術協力活動に研究・研修計画という項目を挙げ、チームリーダーがこれを兼務により担当することとし、PhilRice 所長に対し大所高所から技術協力を進めるにあたって、試験研究活動と研修活動の全般に対して短期的・長期的に助言・指導を行うことを明確にしたこと。

(2) 当初から長期専門家による対応を予定していない栽培、作物保護及び農業機械の各分野について短期専門家派遣と注記したうえで、技術協力活動の項目に明記したこと。ただし機材供与の項においては、これら短期専門家派遣で対応する活動分野については、とくに明記せず、必要が生じたとき相互同意に基づいて供与する他の機材の中に含めたこと。

2-4-2 主な協議事項

日本側が準備した R/D 案、TSI 案に対し、フィリピン側から出された提案もしくは質問等の事項は次のとおりであったが、日本側の説明と対応によって、今般締結した内容の R/D 及び TSI となったものである。

(1) プロジェクトの組織図について

R/D 附表 VII プロジェクト組織図、において PhilRice 運営評議会がプロジェクトの枠から除外されていて、かつ合同委員会との接点がないが、これを改めるべきである。

(日本側説明) 本プロジェクトは PhilRice 全活動のうち一部の活動について日本側が協力を行うものである。また運営評議会は PhilRice 全体について運営方針を決定するフィリピン側独自のものである。

当然本プロジェクトも運営評議会の傘下に置かれるが、合同委員会は本

プロジェクトのみの運営についてフィリピン及び日本の双方で協議するものであるので、決定協議機関としては運営評議会とは独立した存在とするべきである。

(2) 合同委員会の議長について

R/D 附表VI 合同委員会の構成、において議長の肩書きは、単に農業大臣だけではなく、農業大臣かつ PhilRice 運営評議会議長とするべきである。

(日本側説明) 農業大臣と PhilRice 運営評議会議長が全く別の権限を持っていて、かつ別の組織体を背景としているなら併記する必要もあるが、PhilRice の議長には農業大臣がなることになっているので、農業大臣が最高の上位権限者であるから、農業大臣とのみ書いておけば足りるものとする。

(3) 合同委員会の議長及び副議長はフィリピン側に含めるべきである。

(日本側説明) 議長、副議長はフィリピン側から出してもらうことにしているが、議長というものはフィリピン側、日本側いずれにも属さず中立の存在であるべきであって、通常、R/D 附表の表現ぶりは、議長、副議長を独立させている。フィリピン側、日本側という書き方に支障があるならば、メンバーという書き方にしてもよい。

(4) R/D のフィリピン側署名者及び立会人について

R/D、TSI のフィリピン側署名者を農業省研究・研修・普及担当次官 M. M. Lantin としたい。ついては高橋 均氏と Obien 所長を立会人として署名させることとしたい。

(日本側説明) 高橋 均氏は農林水産省農業研究センター総合研究官であるが、調査団としては副団長として参加しているにすぎず、農林水産省農業研究センター総合研究官として、たとえ立会人といえども署名するわけにはいかない。副団長としては団長が署名している以上署名する必要は認められず、したがって立会人になる必要性はない。

なお、PhilRice の Obien 所長が立会人として署名することには依存はない。

(5) 協力の開始時期は R/D 締結後、速やかに実施したい。

(日本側説明) R/D 締結後フィリピン側として準備しなければならない手続きがあり、また日本側としても専門家のリクルート、研修等の準備が必要であり、8月1日に設定したい。

(6) カウンターパート及び事務職員

R/D 附表IVに、専任のカウンターパートと専任の事務職員等を配置すること、とあるが、日本人専門家のみに対して専任の事務職員を配置することはできない。

(日本側説明) 日本人専門家のみに対して専任の事務職員等を配置していただければ、なおありがたいが、ここで求めているのは、必ずしもそういうことではない。本プロジェクトに対して専任の事務職員等を配置してくれればよく、日本人専門家とカウンターパート双方の活動を支援してくれる専任のスタッフを配置していただければ十分である。

附 属 資 料

1. 討議議事録（和訳）
2. 暫定実施計画（和訳）
3. 討議議事録
4. 暫定実施計画
5. プロジェクト実施に関するレター（日本側→フィリピン側）
6. プロジェクト実施に関するレター（フィリピン側→日本側）
7. PhilRice ネットワーク
8. PhilRice 組織図
9. PhilRice 予算計画
10. PhilRice スタッフ一覧
11. PhilRice スタッフ研修計画

附属資料 1. 討議議事録 (和訳)

フィリピン稲研究所プロジェクトのための技術協力に関する

日本側実施協議チームとフィリピン政府関係当局との討議議事録

国際協力事業団（以下「JICA」という）が組織し、国際協力事業団理事 田口俊郎を団長とする日本側実施協議チーム（以下「チーム」という）はフィリピン共和国におけるフィリピン稲研究所プロジェクトについての技術協力計画の詳細を策定するため1992年3月12日より同年3月22日までの日程をもって、フィリピン共和国を訪問した。

フィリピン共和国滞在中チームは上記プロジェクトの有効な実施のため両国政府がとるべき必要な措置に関してフィリピン共和国側当局と意見を交換し、一連の討議を行った。討議の結果、チームとフィリピン共和国側関係当局はそれぞれの政府に対し、ここに添付する附属文書に記載する諸事項について勧告することに同意した。

田口俊郎
実施協議チーム団長
日本国 国際協力事業団

マニエル ランティン
研究・訓練・普及担当
次官補
フィリピン共和国農業省

立会人
サンチャゴ オビエン
フィリピン稲研究所所長
フィリピン共和国

マニラ、 1992年3月18日

附 属 文 書

I 両国政府の協力

1. 日本国政府とフィリピン共和国政府（以下「比国政府」という）は、附表 I の基本計画に基づくフィリピン稲研究所プロジェクトの実施につき相互に協力を行う。

II 日本人専門家の派遣

1. 日本国において施行されている法律及び規則に従い、日本国政府は、コロンボ・プラン技術協力計画の通常の手続きにより、附表 II に掲げる日本人専門家の役務を自己の負担において提供するため、JICAを通じ必要な措置をとる。
2. 上記 1 項にいう日本人専門家及びその家族は、コロンボ・プラン技術協力計画のもとに比国において専門家活動に従事する第三国専門家に与えられている特権、免除及び便宜に比べ、それに劣らないものを与えられる。

III 機材供与

1. 日本国において施行されている法律及び規則に従い、日本国政府は、コロンボ・プラン技術協力計画の通常の手続きにより、附表 III に掲げる当該プロジェクトの実施に必要な資機材を自己の負担において供与するため、JICAを通じて必要な措置をとる。
2. 上記 1 項にいう機材は、陸揚の港あるいは空港にて比国側当局へCIF建てにて引き渡されるとき、比国政府の財産となる。そして、それらの機材は、附表 II に掲げる日本人専門家との協議をもって、当該プロジェクトの実施のためのみに使用される。

IV 研修員受入れ

1. 日本国において施行されている法律及び規則に従い、日本国政府は、コロンボ・プラン技術協力計画の通常の手続きにより、日本における技術研修のため、当該プロジェクトに関係する比国人を自己の負担において受け入れるため、JICAを通じ必要な措置をとる。
2. 比国政府は、比国人が日本における技術研修から得た知識及び経験が、当該プロジェクト実施のため有効に用いられることを保証するために、必要な措置をとる。

V 比国政府の取るべき措置

1. 比国において施行されている法律及び規則に従い、比国政府は、自己の負担において次のものを提供するために、必要な措置をとる。
 - (1) 附表IVに掲げる比国カウンターパート及び事務職員の役務
 - (2) 附表Vに掲げる土地、建物及び附帯施設
 - (3) 上記ⅢのJICAを通じて供与される機材以外で、当該プロジェクト実施に必要な機材、装置、器具、車両、工具、補充部品及びその他の物品の調達もしくは取り替え
 - (4) 比国内における日本人専門家の公務出張に対する交通の便宜及び旅費
 - (5) 日本人専門家及びその家族に対する適当な家具付住居施設
2. 比国において施行されている法律及び規則に従い、比国政府は、次の経費を負担するために必要な措置をとる。
 - (1) 上記Ⅲに掲げる機材の比国内における輸送、据え付け、操作及び維持に必要な経費
 - (2) 上記Ⅲに掲げる機材に対する比国内で課される関税、国内税及びその他の課徴金
 - (3) 当該プロジェクトの実施に必要なすべての運営費

VI プロジェクトの管理

- 1 農業大臣は、当該プロジェクトの実施について全責任を負う。
- 2 当該プロジェクトの長であるフィリピン稲研究所所長は、当該プロジェクトの管理及び運営について責任を負う。
- 3 日本人チームリーダーは、当該プロジェクトの長に対して、当該プロジェクトの実施に関する技術面及び管理面の事項について、提言及び助言を与える。
- 4 日本人専門家は、比国人カウンターパートに対して、当該プロジェクトの実施に関して必要な技術的事項について、指導及び助言を与える。
- 5 当該プロジェクトの効果的かつ成功裡に実施するため、附表VIに掲げる機能及び構成による合同委員会が設置される。
- 6 当該プロジェクトは附表VIIに示される組織によって運営される。

VII 日本人専門家に対する請求（クレーム）

比国政府は、日本人専門家の比国内における職務の遂行に起因し、または、その遂行中に、または、その遂行に関連して発生する日本人専門家に対するクレームが生じた場合には、そのクレームに関する責任を負う。ただし、日本人専門家の故意、または重大な過失により生ずる責任については、この限りではない。

VIII 相互協議

両国政府は、本附属文書から生ずる、あるいは、本附属文書に関連する主要事項について相互協議を行う。

IX 協力期間

本附属文書に基づく当該プロジェクトの協力期間は1992年8月1日より5年間とする。

附 表

I 基本計画

1. 当該プロジェクトの目的

当該プロジェクトは、フィリピン稲研究所において稲作技術の研究及び訓練活動を促進し、ひいてはフィリピン共和国の稲作技術の向上に資することを目的とする。

2. 日本の技術協力活動

助言及び指導を通じての日本の技術協力は、下記の項目について行われるものとする。

(1) 研究・研修計画：イ) 研究計画の策定

ロ) 効率的な研修事業計画の策定

(2) 品 種 改 良：イ) 気象生態適応型多収・良質・耐病虫性・適当な生育期間を持った品種の育成

ロ) 高標高・低肥沃土地帯向き多収・良質・耐冷性・難脱粒性品種の育成

(3) 土 壌 肥 料：イ) 地域農業生態系に適応した施肥管理技術の開発

ロ) 農業生態系、施肥水準別生育モデルの構築

(4) 栽培、作物保護、農業機械（短期専門家対応）

3. プロジェクト サイト

フィリピン稲研究所本部 ヌエバシハ州ムニョス町

II 日本人専門家

1. チームリーダー／研究・研修計画

2. 業務調整

3. 下記分野の長期専門家

(1) 品種改良

(2) 土壌肥料

4. 短期専門家

(1) 附表 I-2-(4) に示される分野の短期専門家を派遣する。

(2) 当該プロジェクトを円滑に実施するため、必要に応じて他の分野の短期専門家を派遣する。

III 機材供与

1. 研究計画・研修指導用資機材

2. 品種育成関係の調査研究資機材

3. 土壌肥料関係の調査研究資機材

4. 必要が生じたとき、相互同意に基づく他の資機材

IV カウンターパート及び事務職員

1. 当該プロジェクトの長（フィリピン稲研究所所長）

2. 下記分野の専任カウンターパート

1) 品種改良

2) 土壌肥料

3) 必要が生じたとき、相互同意に基づく他の分野

3. 専任の事務職員等

1) 一般事務職員

2) タイピスト

3) 運転手

4. その他必要な補助職員

V 土地、建物及び付帯施設

フィリピン稲研究所本部 ヌエバシハ州ムニョス町

- 1) 研究・研修棟
- 2) 研修宿泊棟
- 3) サービス棟
- 4) 作業棟
- 5) グリーンハウス
- 6) 附属圃場

VI 合同委員会

1. 機能

合同委員会は、少なくとも年一回及び必要が生じたとき開催し、次の機能を持つものとする。

- 1) 本討議議事録の枠内で策定された暫定実施計画に沿って、当該プロジェクトの年次計画を策定する。
- 2) プロジェクトの全体の進捗及び上記年次計画の達成に関する検討を行う。
- 3) プロジェクトから生ずる、あるいは、プロジェクトに関連する主要事項につき検討し、意見交換を行う。

2. 構成

1) 議長： 農業大臣

2) 副議長： 研究・訓練・普及担当 次官補

3) 委員

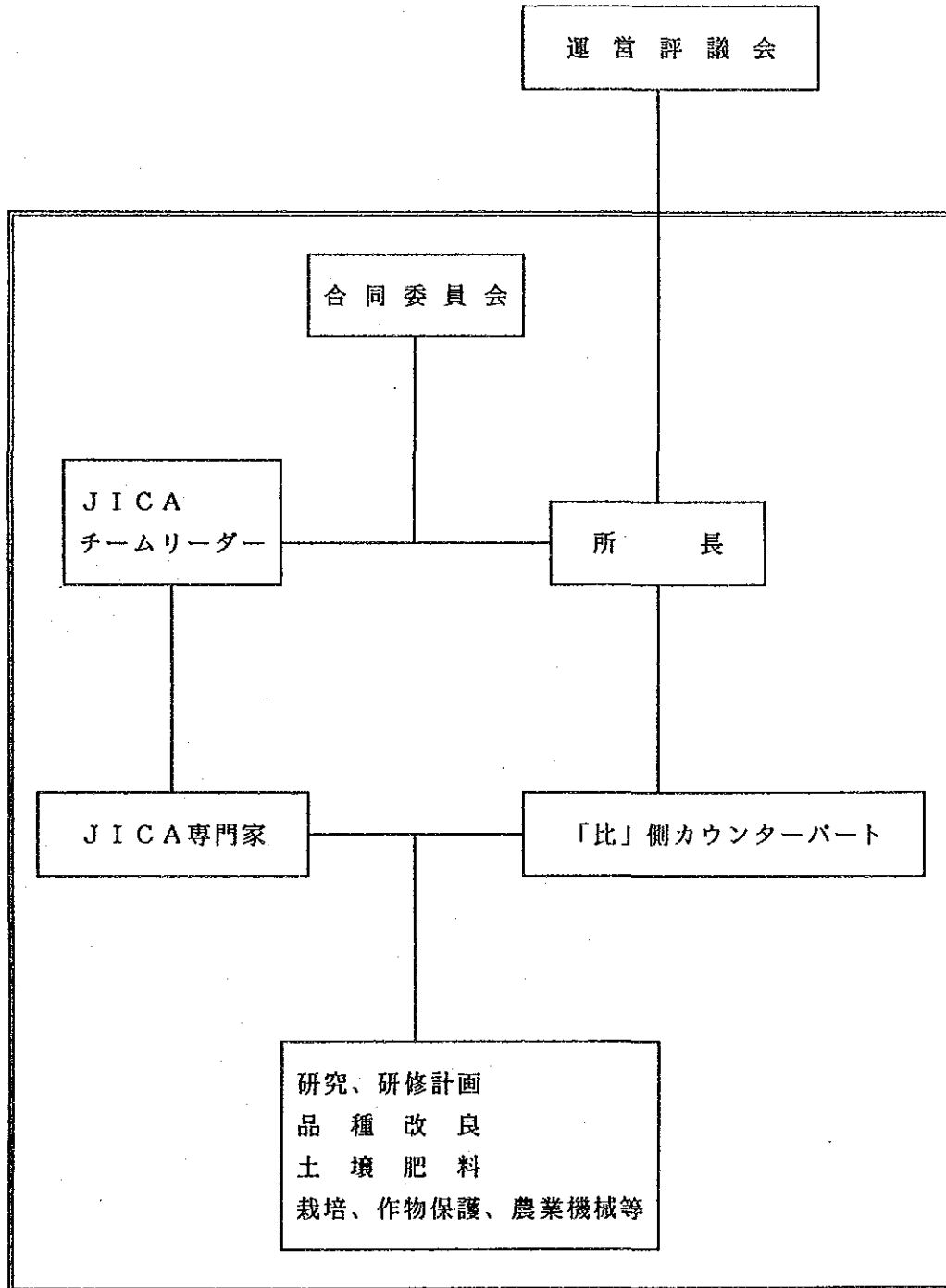
- a) フィリピン稲研究所所長
- b) フィリピン稲研究所副所長
- c) 農業省農業研究局局長
- d) 農業省国際農業開発協力調整室プロジェクトパッキング課課長
- e) 国家経済開発庁公共投資部部長
- f) フィリピン農林天然資源研究開発審議会研究担当副部長
- g) フィリピン大学農学部学部長

- h) JICAチームリーダー
- i) JICA業務調整
- j) JICA専門家
- k) JICAが必要と認め派遣した者
- l) JICAフィリピン事務所所長
- m) 日本大使館代表はオブザーバーとして出席できる

附表VII

Ph i l R i c e P r o j e c t

組 織 図



附属資料 2. 暫定実施計画（和訳）

暫定実施計画

日本国実施協議チームとフィリピン共和国側当局は、附表として添付するフィリピン共和国フィリピン稲研究所プロジェクト（以下「プロジェクト」という）の暫定実施計画を共同で作成した。

この暫定実施計画は、当該プロジェクトの実施に必要な予算が確保されることを前提とし、日本国実施協議チームとフィリピン側当局間で署名された討議議事録の付属文書に関して作成され、当該プロジェクトの実施段階において必要が生じた場合、討議議事録の枠内で変更されるものとする。

田口 俊郎
実施協議チーム団長
日本国 国際協力事業団

マニエル ランティン
研究・訓練・普及担当
次官補
フィリピン共和国農業省

立会人

サンチャゴ オビエン
フィリピン稲研究所所長
フィリピン共和国農業省

マニラ、 1992年3月19日

附表 I

活動計画

分野／項目	1年目*	2年目	3年目	4年目	5年目
1. 研究・研修計画					
1) 研究計画の策定					
2) 効率的な研修事業計画の策定					
2. 品種改良					
1) 低平地気象生態適応型 多収・良質・耐病虫性 品種の育成					
2) 高標高・低肥沃土地帯向 多収・良質・耐冷性・ 難脱粒性品種の育成					
3. 土壌肥料					
1) 地域農業生態系に適応 した効率的施肥管理技 術の開発					
2) 施肥水準別生育モデルの 構築					
4. 栽培、作物保護、農業機械 (短期専門家で対応)					

* 1992年8月1日より

附表Ⅱ

技術協力（日本側）

分野／項目	1年目*	2年目	3年目	4年目	5年目
I. 専門家の派遣					
1 長期専門家					
1) チームリーダー					
2) 業務調整					
3) 品種改良					
4) 土壌肥料					
2 短期専門家 栽培、作物保護、 農業機械等					
II. 研修員受入れ					
III. 機材供与					

*1992年8月1日より

附表Ⅲ

技術協力（比側）

分野／項目	1年目*	2年目	3年目	4年目	5年目
I. カウンターパート及び 事務職員の配置					
1 プロジェクトの長					
2 プロジェクトの次長					
3 カウンターパート					
1) 品種改良					
2) 土壌肥料					
3) 栽培、作物保護、 農業機械等					
4) その他の分野					
4 事務職員					
1) 事務職員					
2) タイピスト					
3) 運転手					
4) その他必要な補助職員					
II. 土地、建物、その他 必要な施設					
III. プロジェクト運営経費					


*1992年8月1日より

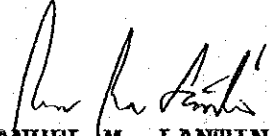
RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM
AND AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE PHILIPPINE RICE RESEARCH INSTITUTE PROJECT

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Toshiro Taguchi, Vice President of JICA, visited the Republic of the Philippines from March 12 to March 22, 1992 in order to work out the details of the technical cooperation program concerning the Philippine Rice Research Institute Project in the Republic of the Philippines.

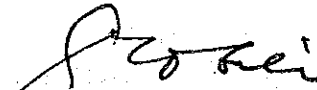
During their stay in the Republic of the Philippines, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Philippine authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result of the discussions, the Team and the Philippine authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.


TOSHIRO TAGUCHI
Leader
Implementation Survey Team
Japan International
Cooperation Agency, Japan


MANUEL M. LANTIN
Asst. Secretary for Research,
Training and Extension
Department of Agriculture
Republic of the Philippines

WITNESS:


SANTIAGO R. OBIEN
Director
Philippine Rice Research Institute
Republic of the Philippines

Manila, March 18, 1992

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

The Government of Japan and the Government of the Republic of the Philippines will cooperate with each other in implementing the Philippine Rice Research Institute project (hereinafter referred to as "the Project") in accordance with the Master Plan given in Section I of the Annex.

II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide, at its own expense, services of the Japanese experts as listed in Section II of the Annex through normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Japanese experts referred to in 1 above and their families will be granted in the Republic of the Philippines the privileges, exemptions, and benefits no less favorable than those accorded to experts of third countries working in the Republic of the Philippines under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide, at its own expense, such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Section III of the Annex through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Equipment will become the property of the Government of the Republic of the Philippines upon delivery *c.i.f.* to the Philippine authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation, and will be utilized exclusively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Section II of the Annex.

[Handwritten signature]

[Handwritten mark]

IV. TRAINING OF PHILIPPINE PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive, at its own expense, the Philippine personnel connected with the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Government of the Republic of the Philippines will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Philippine personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

V. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of the Philippines, the Government of the Republic of the Philippines will take necessary measures to provide at its own expense:
 - (1) *Services of the Philippine counterpart personnel and administrative personnel as listed in Section IV of the Annex;*
 - (2) *Land, buildings and facilities as listed in Section V of the Annex;*
 - (3) *Supply or replacement of machinery, equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA under III-1 above;*
 - (4) *Transportation facilities and travel allowance for the Japanese experts for the official travel within the Republic of the Philippines.*
 - (5) *Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.*

Hubert J. Garcia

(7.7)

2. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of the Philippines, the Government of the Republic of the Philippines will take necessary measures to meet:

- (1) *Expenses necessary for the transportation within the Republic of the Philippines of the Equipment referred to in III-1 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;*
- (2) *Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in the Republic of the Philippines on the Equipment referred to in III-1 above;*
- (3) *All running expenses necessary for the implementation of the Project.*

VI. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Secretary of the Department of Agriculture will bear overall responsibility for the implementation of the Project.
2. The Executive Director of the Philippine Rice Research Institute, as Head of the Project, will be responsible for administrative, managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese Team Leader will provide necessary recommendations and advice to the Head of the Project on technical and administrative matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Philippine counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of the Project, a Joint Committee will be organized with the function and composition as referred to in Section VI of the Annex.
6. The Project will be implemented by the organization as referred to in Section VII of the Annex.

Hubert S. Sison

(T.T.)

VII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

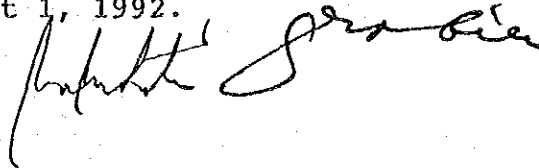
The Government of the Republic of the Philippines undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of the Philippines, except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VIII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from August 1, 1992.

A handwritten signature in cursive script, appearing to read "F. T. S. B. C.", is written over the end of the text in section IX.A handwritten mark consisting of the letters "T. T." enclosed within a hand-drawn circle, located in the bottom left corner of the page.

ANNEX

I. MASTER PLAN

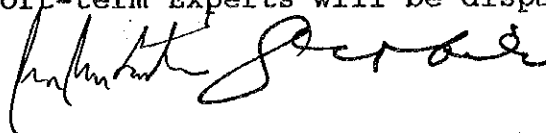
1. Objective of the Project


The Project will be carried out for the purpose of promoting research and training activities on rice technology in the Philippine Rice Research Institute, thus contributing to the improvement of rice technology in the Republic of the Philippines.

2. Activities of the Japanese Technical Cooperation

The Japanese technical cooperation through advice and guidance will be implemented in line with the following activities:

- (1) Research and Training planning
 - a) *Research planning*
 - b) *Planning effective training activities*
- (2) Varietal improvement
 - a) *Development of high yielding rice cultivars with excellent grain quality, resistant to pests and diseases, and suitable maturity for specific agro-climatic conditions in the country.*
 - b) *Development of rice cultivars suitable for cool elevated areas which are high yielding, with excellent grain quality, resistant to shattering and responsive to low levels of fertilizer.*
- (3) Soils and Fertilizers
 - a) *Development of fertilizer management technology for various agro-climatic conditions in rice growing areas.*
 - b) *Establishment of models that will predict responses of rice growth in different agro-climatic conditions with different levels of fertilizer application.*
- (4) Agronomy, Plant Protection and Agricultural Machinery (Short-term Experts will be dispatched)





3. Project Site

Philippine Rice Research Institute (PhilRice)
Maligaya, Muñoz, Nueva Ecija

II. JAPANESE EXPERTS

1. Team Leader/Research and Training Planning

2. Coordinator

3. Long-term experts in the field of:

- (1) Varietal Improvement
- (2) Soils and Fertilizers

4. Short-term Experts


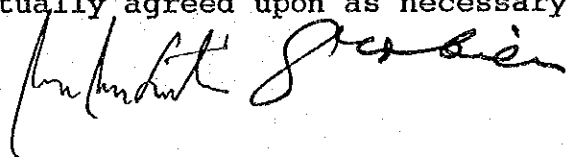
- (1) Short-term Experts will be dispatched in the fields mentioned in Annex I-2(4).
- (2) Short-term Experts will be dispatched in other fields when necessity arises for the smooth implementation of the Project.

III. ITEMS OF EQUIPMENT

- 1. Equipment and instruments for research planning and training design
- 2. Equipment and instruments for plant breeding
- 3. Equipment and instruments for soil and fertilizer management
- 4. Other equipment and materials mutually agreed upon as necessary

IV. LIST OF PHILIPPINE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

- 1. Head of the Project (Executive Director, PhilRice)
- 2. Full-time Counterpart personnel in the fields of:
 - (1) Varietal Improvement
 - (2) Soil and Fertilizer Management
 - (3) Other fields mutually agreed upon as necessary



3. Full-time Administrative personnel

- (1) Administration
- (2) Typist
- (3) Driver

4. Other necessary supporting staff

V. LIST OF LAND, BUILDING AND FACILITIES

Philippine Rice Research Institute (Muñoz, Nueva Ecija)


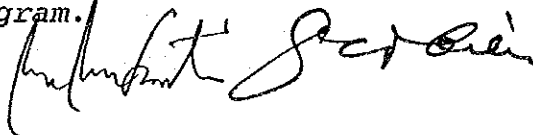
- 1. Research and Training Building
- 2. Dormitory
- 3. Service Building
- 4. Workshop
- 5. Greenhouse
- 6. Experimental farm

VI. THE JOINT COMMITTEE

1. Functions

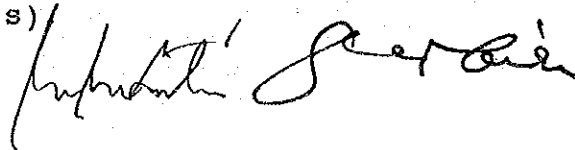
The Joint Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises, and work:

- (1) *To formulate the Annual Work Plan of the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation to be formulated under the framework of this Record of Discussions;*
- (2) *To review the overall progress of the technical cooperation program as well as the achievement of the above mentioned Annual Work Plan and*
- (3) *To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the technical cooperation program.*

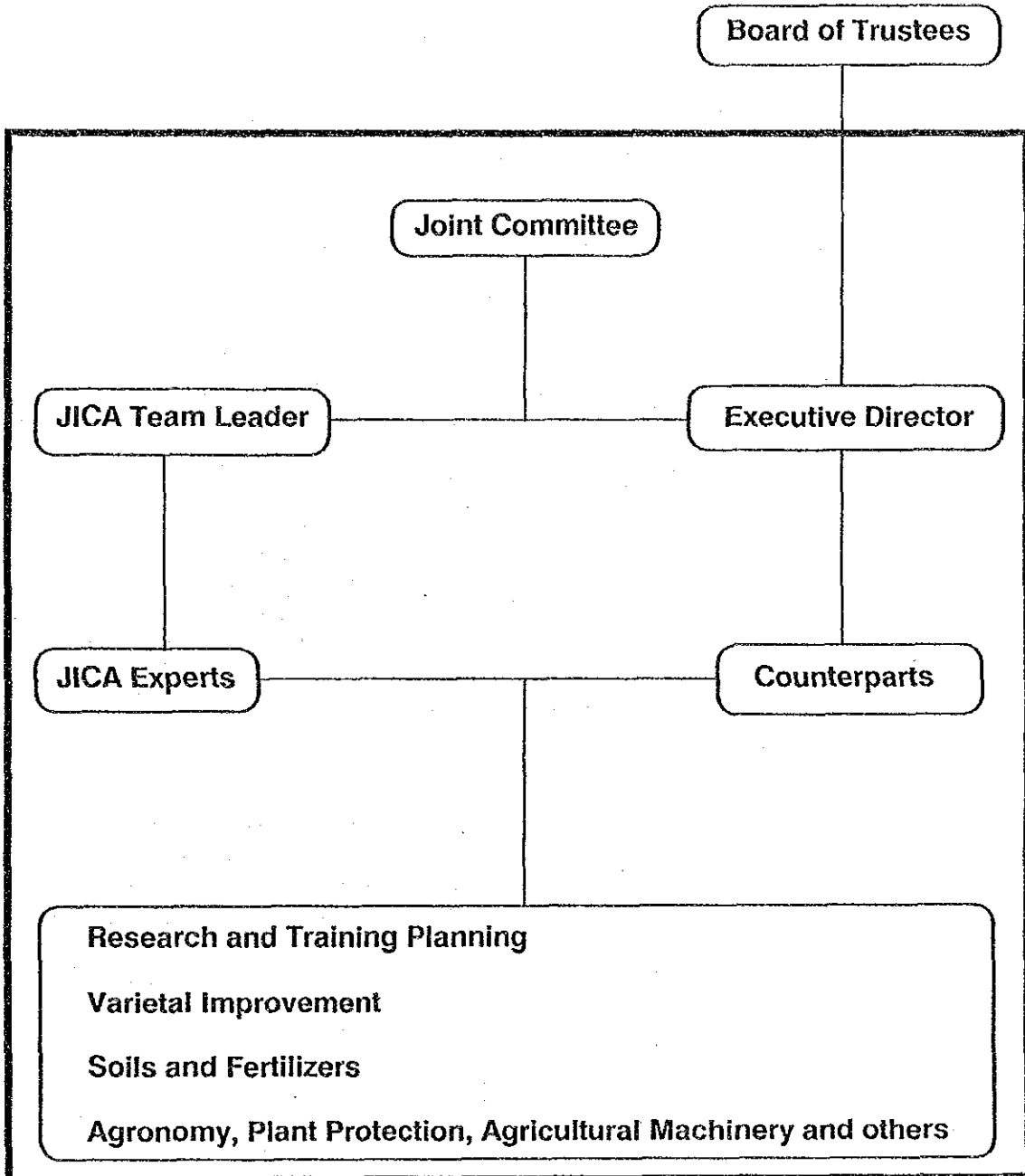


2. Composition

- (1) Chairman: Secretary of Agriculture, Department of Agriculture (DA)
- (2) Vice Chairman: Assistant Secretary for Research, Training and Extension, DA
- (3) Members:
 - (a) Executive Director, PhilRice
 - (b) Deputy Director, PhilRice
 - (c) Director, DA-Bureau of Agricultural Research
 - (d) Chief, Project Packaging Division, DA-International Agricultural Development Cooperation Coordinating Office
 - (e) Director, Public Investment Staff, National Economic Development Authority
 - (f) Deputy Director for Research, Philippine Council for Agriculture, Forestry and Natural Resources Research and Development (PCARRD)
 - (g) Dean, College of Agriculture, University of the Philippines at Los Baños
 - (h) Team Leader, JICA
 - (i) Coordinator, JICA
 - (j) Experts, JICA
 - (k) Personnel concerned to be dispatched by JICA, if necessary
 - (l) Resident Representative of JICA, Philippine Office
 - (m) Official(s) of the Embassy of Japan may attend as observer(s)



ANNEX VII. PhilRice PROJECT ORGANIZATION



Handwritten signature

(P.T.)

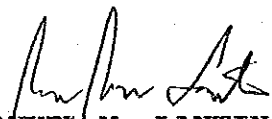
TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION
OF THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PHILIPPINE RICE RESEARCH INSTITUTE PROJECT
IN THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

The Japanese Implementation Survey Team and the authorities concerned of the Republic of the Philippines have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation for the Philippine Rice Research Institute Project (hereinafter referred to as "the Project") in the Republic of the Philippines as annexed hereto.

This has been formulated in connection with the Attached Document of the Record of Discussions signed between the Japanese Implementation Survey Team and the Philippine authorities concerned for the Project on condition that necessary budget will be allocated for implementation of the Project by both sides, and that the contents of the schedule are subject to changes within the framework of the Record of Discussions when the necessity arises in the course of the implementation of the Project.

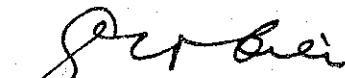


TOSHIRO TAGUCHI
Leader
Implementation Survey Team
Japan International
Cooperation Agency, Japan



MANUEL M. LANTIN
Asst. Secretary for Research,
Training and Extension
Department of Agriculture
Republic of the Philippines

WITNESS:



SANTIAGO R. OBIEN
Director
Philippine Rice Research Institute
Republic of the Philippines

Manila, March 18, 1992

ANNEX I. ACTIVITIES OF THE PROJECT

FIELD/ITEM	YEAR				
	1st *	2nd	3rd	4th	5th
1. Research and Training Plan	:	:	:	:	:
(1) Research Planning	:	:	:	:	:
(2) Effective Training design	:	:	:	:	:
2. Varietal Improvement	:	:	:	:	:
(1) Development of high yielding varieties with excellent grain quality and resistant to pests and diseases for specific agro-climatic conditions in the country	:	:	:	:	:
(2) Development of rice cultivars for cool elevated areas which are high yielding with excellent grain quality, resistant to shattering and responsive to low levels of fertilizer	:	:	:	:	:
3. Soils and Fertilizers	:	:	:	:	:
(1) Development of fertilizer management technology for various agro-climatic conditions in rice growing areas.	:	:	:	:	:
(2) Establishment of models that will predict responses of rice growth with different levels of fertilizer application	:	:	:	:	:
4. Agronomy, Plant Protection, Agricultural Machinery and Other fields (short-term Experts will be dispatched)	:	:	:	:	:

* Start of Project : August 1, 1992

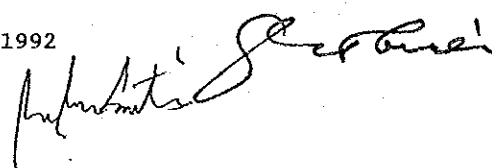
[Handwritten signatures]

[Handwritten mark]

ANNEX II. TECHNICAL COOPERATION PROGRAM (Japanese side)

ITEM	YEAR				
	1st *	2nd	3rd	4th	5th
I. DISPATCH OF EXPERT					
1. Long-term Expert					
(1) Team Leader					
(2) Coordinator					
(3) Varietal Improvement					
(4) Soils and Fertilizers					
2. Short-term Expert					
Agronomy, Plant Protection,					
Agricultural machinery and					
other fields					
II. TRAINING OF PHILIPPINE PERSONNEL IN JAPAN					
III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT					

* Start of Project : August 1, 1992




ANNEX III. TECHNICAL COOPERATION PROGRAM (Philippine side)

ITEM	YEAR				
	1st *	2nd	3rd	4th	5th
I. ASSIGNMENT OF COUNTERPARTS AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL	:	:	:	:	:
1. Head of the Project	:	:	:	:	:
2. Deputy Head of the Project	:	:	:	:	:
3. Counterparts	:	:	:	:	:
(1) Varietal Improvement	:	:	:	:	:
(2) Soils and Fertilizers	:	:	:	:	:
(3) Agronomy, Plant Protection, Agricultural machinery and other fields	:	:	:	:	:
4. Administrative personnel	:	:	:	:	:
(1) Administrative staff	:	:	:	:	:
(2) Typist	:	:	:	:	:
(3) Driver	:	:	:	:	:
(4) Other necessary supporting staffs	:	:	:	:	:
II. PROVISION OF LAND, BUILDING AND OTHER NECESSARY FACILITIES	:	:	:	:	:
III. ALLOCATION OF RUNNING COST OF THE PROJECT	:	:	:	:	:

* Start of Project : August 1, 1992

[Handwritten signatures]

(T.T.)

附属資料 5. プロジェクト実施に関するレター (日本側→フィリピン側)

March 18, 1992

Dr. Santiago R. Obien
Director, Philippine Rice Research Institute
Maligaya, Munoz, Nueva Ecija, Philippines

Dear Dr. Obien:

This is to confirm the tentative plans and steps in the implementation of the technical cooperation Project as discussed and agreed between the Japanese Implementation Survey Team and the Philippine authorities concerned during their meetings held last March 13, 16-17, 1992. The major agreements made during the meetings are as follows:

1. Among the Japanese experts listed in Annex II of the Record of Discussions, the Team Leader and the Coordinator will be first dispatched in August this year.
2. The Philippine side shall submit the official request form (A-1) for the above experts as soon as possible.
3. Acceptance of the Philippine personnel for training in Japan in Fiscal Year 1992 will be discussed after the abovementioned experts will arrive in the Philippines.
4. The Philippine side shall submit the official request form (A-4) for the equipment as soon as possible.
5. Measures to be undertaken by the Philippine side:
 - 1) Allocation of guest rooms for JICA experts, if necessary.
 - 2) Provision of adequate communication system.
 - 3) Allocation of car and driver for the experts before the arrival of the equipment.
 - 4) Adequate security measures to insure safety of the experts.

We would appreciate very much your formal response on the matter.

Very truly yours, ^

T. Taguchi

TOSHIRO TAGUCHI
Vice President, JICA and
Team Leader, Implementation
Survey Team

*Received 18 March 92
S. Obien*

PhilRice
CENTRAL EXPERIMENT STATION
FAX NO. - 063(4456)113



PHILIPPINE RICE RESEARCH INSTITUTE
MALIGAYA, MUÑOZ, NUEVA ECUIJA, PHILIPPINES 3119
TEL. NOS. 112, 113, 258, 277, 285, 354

18 March 1992

Dr. Toshiro Taguchi
Vice President
Japan International Cooperation Agency
JICA Implementation Survey Team
for Technical Cooperation Project

Dear Dr. Taguchi:

We wish to express our sincere gratitude for the visit of the JICA Implementation Survey Team for Technical Cooperation Project last March 12-18, 1992.

The results of our discussions and exchange of ideas have been very fruitful and successful. We wish to assure the JICA that we will do our best to make the technical cooperation successful and rewarding to both PhilRice and JICA.

As we have agreed in our discussions and meetings, PhilRice side shall take the necessary arrangements and steps in the implementation of our project, as follows:

1. PhilRice understands that the dispatch of the Team Leader and Coordinator will be in August of this year.
2. With regard to the dispatch of experts, PhilRice shall make an official request (Form A-1) for the above mentioned experts as soon as possible.
3. PhilRice also understands that the acceptance of personnel for training in Japan shall be discussed after the above experts will arrive in the Philippines.
4. PhilRice shall also make an official request (Form A-4) for the equipment as soon as possible.
5. Measures to be undertaken by the Philippine side:
 - 1) PhilRice shall accommodate the experts in the guest rooms;
 - 2) With regard to the availability of communication system, PhilRice has the following facilities at Maligaya, Muñoz, Nueva Ecija, which could be used by the experts also:



Republic of the Philippines
DEPARTMENT OF AGRICULTURE

Elliptical Road, Diliman
Quezon City 1101

Telephone: 998741 to 65 loc 269
978586 loc 269

Cable: "Secagri" Manila
Telex: (722) - 27726 MOA - PH

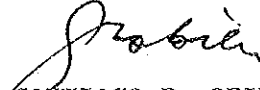
- (1) 2 facsimile machines
 - (2) 4 trunk line telephone systems with 80 local numbers
 - (3) 2 direct telephone systems (PLDT)
 - (4) 1 cellular mobile/transportable phone
 - (5) 1 reserve line for cellular phone
 - (6) Single - side band radio communication network facilities (based within the compound) that links all DA stations all over the country
 - (7) PhilRice-based radio transceivers linked with Cabanatuan and Muñoz Police Stations
- 3) Provide car and driver for the experts before the equipment from Japan arrive.
- 4) With regard to security measures, PhilRice shall make the necessary arrangements similar to the previous arrangements made during the construction of the JICA funded Infrastructure Project at Maligaya:
- (1) Coordinate with the Provincial Commander of the Philippine National Police and the Office of the Governor of Nueva Ecija regarding the need for peace and order in the Province and our desire for protection. Similar request shall be sent to the Municipal Mayors of Muñoz, Talavera, and San Jose City, to make sure that their respective areas shall be safe and secure.
 - (2) Make close arrangements with the Barangay Captain of Maligaya to help ensure the security of the area, to watch for individuals who may have suspicious intentions, and to encourage the people of Maligaya to assist in making the place peaceful and orderly.
 - (3) Communicate with the Secretary of Defense and inform him of the need to have the area peaceful and orderly, to enable both the Filipino and foreign scientists to do their job well without any fear of being molested by anybody.

A

We hope that you will understand our situation and our strong desire to have the Project implemented this year.

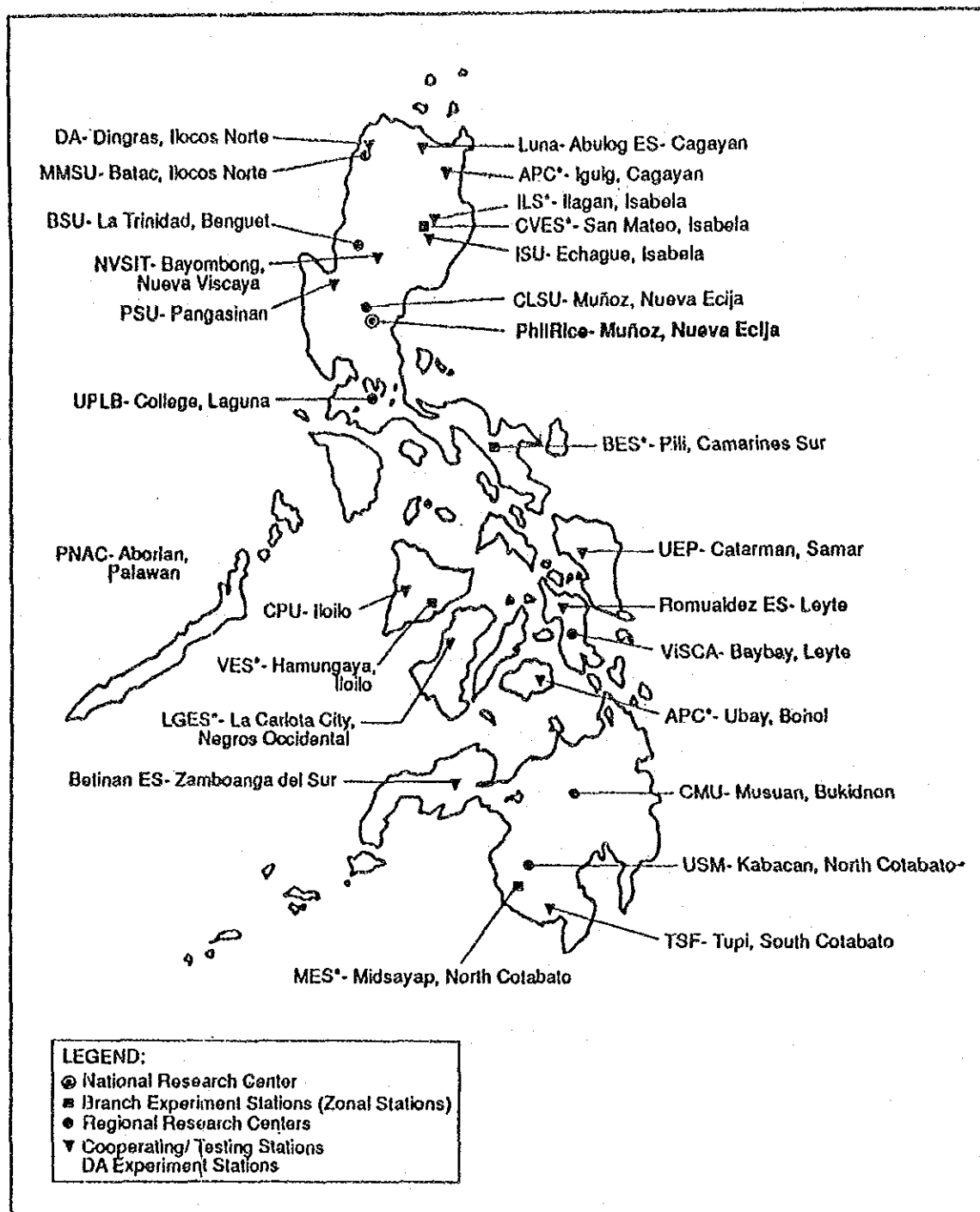
Again, thank you very much and please accept our sincere best wishes.

Very truly yours,

A handwritten signature in cursive script, appearing to read "S. Obien".

SANTIAGO R. OBIEN
Director

Fig. 1. PhilRice R&D Network



For: Dr Tsuboi

NATIONAL RICE R&D NETWORK

Philippine Rice Research Institute
(Maligaya, Los Baños, Midsayap, RTR, San Mateo)
Bureau of Agricultural Statistics
International Rice Research Institute
Philippine Nuclear Research Institute
Regional Crop Protection Centers
Seed Quality Control Services
National Post Harvest Institute for Research and Extension
Philippine Council for Agriculture, Forestry & Natural
Resources Research & Development

Department of Agriculture

DA-Butuan City, Agusan del Norte	Bohol Agricultural Promotion Center
Agricultural Pilot Center-Iguig	Dingras Experiment Station
Visayas Experiment Station	Romualdez Experiment Station
Ipil Experiment Station	Ilagan Experiment Station
DA-La Trinidad, Benguet	DA-Tabuk, Kalinga Apayao
DA-Lagawe, Ifugao	DA-Catbalogan, Samar
DA-Kalibo, Aklan	Gandara Seed Farm
Tupi Seed Farm	DA-Baler, Aurora
Bicol Regional Integrated Agricultural Research Center	
La Granja National Crops Research and Development Center	

State Universities and Colleges

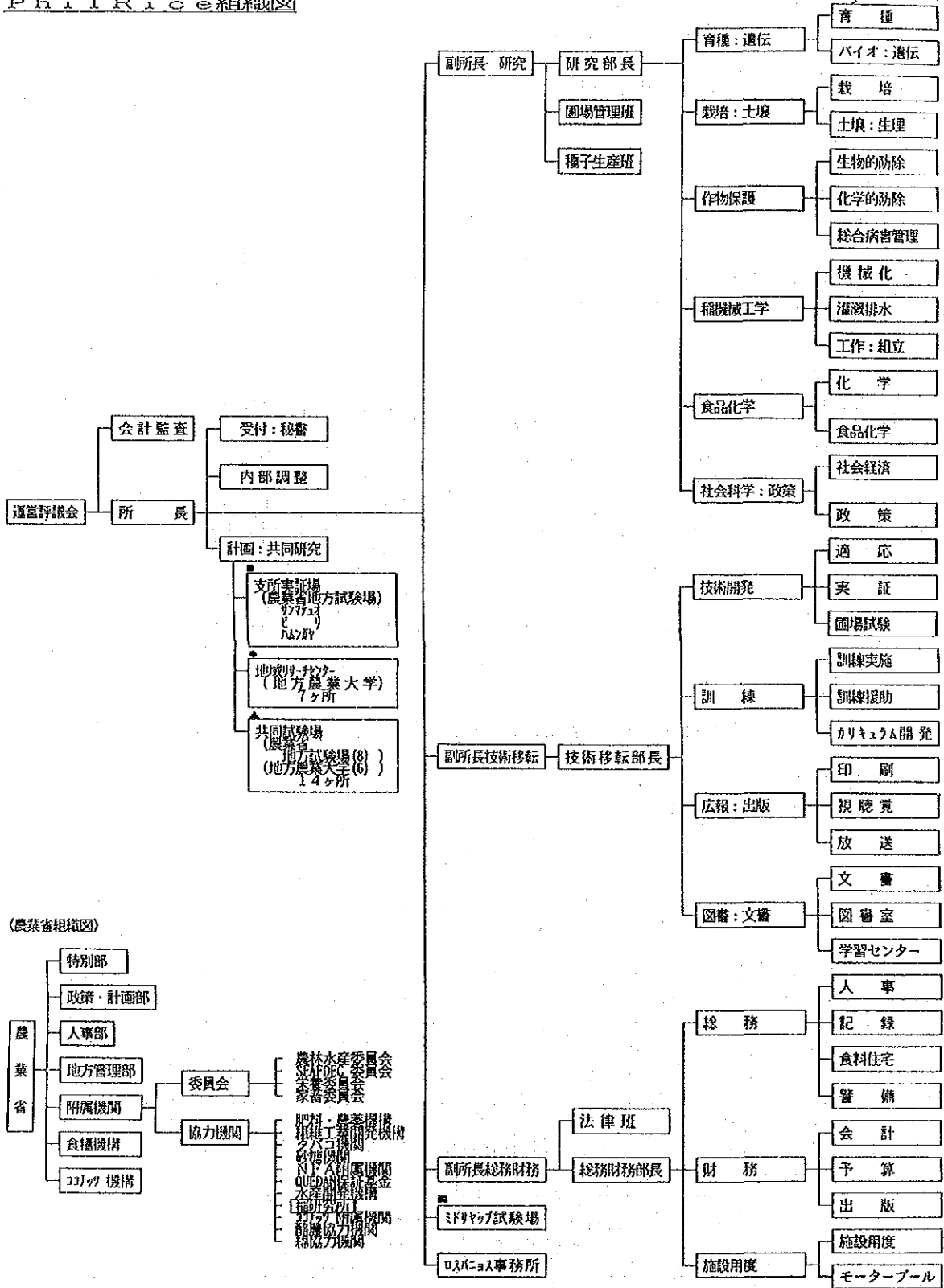
University of the Philippines at Los Baños

College of Arts and Sciences	National Crop Protection Center
Institute of Animal Science	Institute of Plant Breeding
College of Human Ecology	College of Agriculture
College of Economics and Management	
Institute of Food Science and Technology	
Farming Systems and Soil Resources Institute	
National Institute of Biotechnology and Applied Microbiology	

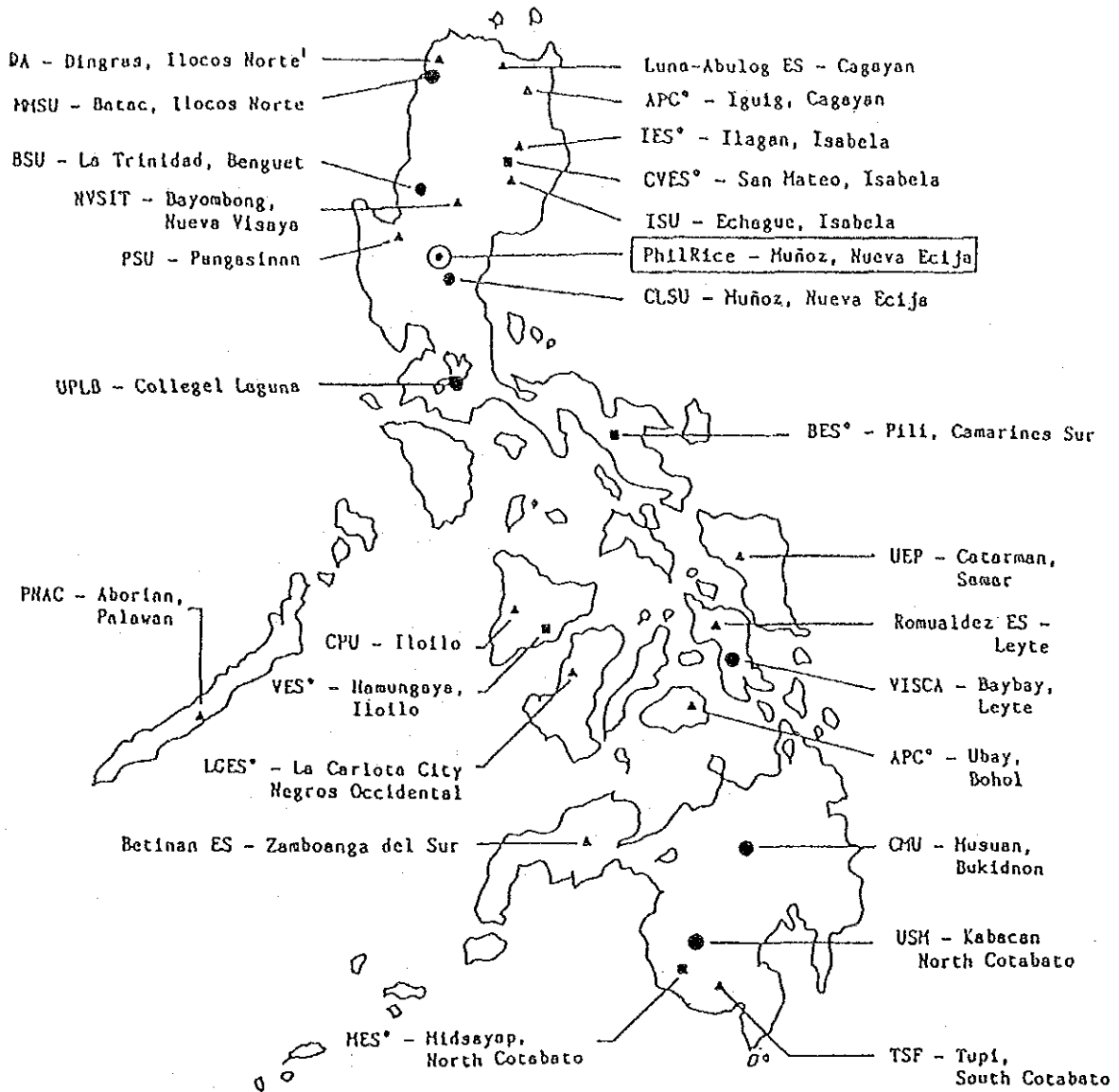
Central Luzon State University	University of Eastern Philippines
Mariano Marcos State University	Central Philippines University
Panay State Polytechnic College	University of Southern Mindanao
Pampanga Agricultural College	Tarlac College of Agriculture
Pangasinan State University	Eastern Samar State College
Aklan Agricultural College	Central Mindanao University
Benguet State University	Mindanao State University
Mindoro College of Agriculture and Technology	
Don Mariano Marcos Memorial State University	
Nueva Vizcaya State Institute of Technology	
Palawan National Agricultural College	
Bulacan National Agricultural School	
Visayas State College of Agriculture	
Western Mindanao State University	

附属資料 8. PhilRice 組織図

PhilRice組織図



PhilRice の全国ネットワーク



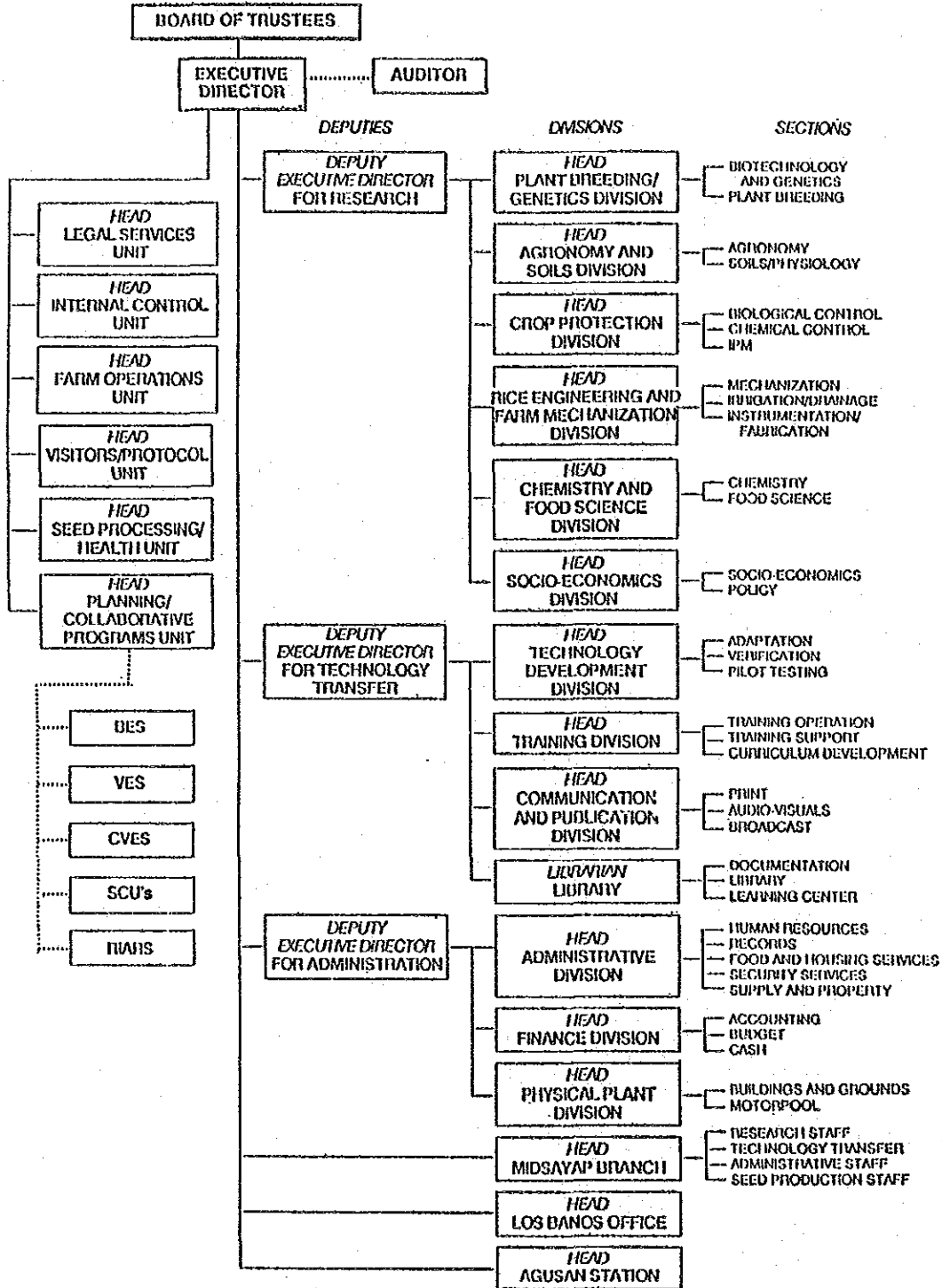
LEGEND

- ◎ - National Research Center (フィルライス本部) 共同研究機関
- - Branch Experiment Stations (4カ所) (Zonal Stations)
- - Regional Research Centers (7カ所)
- ▲ - Cooperating/Testing Stations. (14カ所)

本部には3部 (総務、研究、研修・普及)
 13課3班で構成されている。
 研究部には8つの研究部門がある。
 定員275人の内 技術部門 189人
 管理部門 86人

PHILIPPINE RICE RESEARCH INSTITUTE
MALIGAYA, MUÑOZ, NUEVA ECJA

ADMINISTRATIVE STRUCTURE
(AS OF JANUARY 1, 1991)



附属資料9. PhilRice 予算計画

フィリピン稲研究所予算計画(フィリピン側)

(P1=5円)

項目	1990年		1991年		1992年		1993年		1994年		1995年	
	実績 (千円)	千円	実績 (千円)	千円	予定 (千円)	千円	予定 (千円)	千円	予定 (千円)	千円	予定 (千円)	千円
収入												
国家補助金	43,120	215,600	60,033	300,165	109,576	547,880	118,342	591,710	128,812	630,060	131,491	657,455
販売収入	3,525	17,625	1,500	7,500	2,500	12,500	2,700	13,500	2,875	14,375	3,000	15,000
租子収入	362	1,810	550	2,750	600	3,000	648	3,240	690	3,450	720	3,600
信託受取	16,752	83,760	16,251	81,255	5,000	25,000	5,400	27,000	5,750	28,750	6,000	30,000
譲入合計	63,759	318,795	78,334	391,670	117,676	588,380	127,090	635,450	135,327	676,635	141,211	706,055
歳出												
1. 人件費												
職員給与	8,574	42,870	11,439	57,195	18,268	91,340	19,729	98,645	21,008	105,040	21,922	109,610
臨時職員給	9,142	45,710	7,540	37,700	6,000	30,000	6,480	32,400	6,900	34,500	7,200	36,000
コンサル手	1,176	5,880	1,665	8,325	1,822	9,110	1,968	9,840	2,095	10,475	2,186	10,930
契約職員給	789	3,945	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別手当	60	300	104	520	104	520	112	560	120	600	125	625
PERA	0	0	0	0	3,330	16,650	3,596	17,980	3,830	19,150	3,996	19,980
RATA	105	525	394	1,970	590	2,950	637	3,185	679	3,395	708	3,540
その他	3,673	18,365	4,738	23,690	4,870	24,350	5,260	26,300	5,601	28,005	5,844	29,220
人件費合計	23,519	117,595	25,880	129,400	34,984	174,920	37,783	188,915	40,232	201,160	41,981	209,905
2. 運営管理費												
旅費	1,857	9,285	2,480	12,400	9,621	48,105	10,391	51,955	11,064	55,320	11,545	57,725
通信運給	133	665	380	1,900	5,004	25,020	5,404	27,020	5,755	28,775	6,025	30,025
修理	267	1,335	645	3,225	6,450	32,250	6,966	34,830	7,418	37,090	7,740	38,700
運搬	17	85	75	375	3,800	19,000	4,104	20,520	4,370	21,850	4,560	22,800
サービス費	4,959	24,795	4,880	24,400	10,003	50,015	10,803	54,015	11,503	57,515	12,004	60,020
消耗品費	5,685	28,425	5,950	29,750	16,870	84,350	18,220	91,100	19,401	97,005	20,244	101,220
借り上げ費	47	235	50	250	70	350	76	380	81	405	84	420
寄付、供与	3,569	17,845	3,250	16,250	4,800	24,000	5,184	25,920	5,520	27,600	5,760	28,800
光熱水追費	703	3,515	1,961	9,805	4,800	24,000	5,184	25,920	5,520	27,600	5,760	28,800
会計サ一ビ	387	1,935	0	0	464	2,320	501	2,505	534	2,670	557	2,785
運賃維持費	1,800	9,000	2,449	12,245	6,350	31,750	6,856	34,280	7,303	36,515	7,620	38,100
自由税運賃	0	0	45	225	45	225	45	225	45	225	45	225
代客経費	56	280	50	250	4,270	21,350	4,612	23,060	4,911	24,555	5,124	25,620
臨時費	0	0	50	250	45	225	45	225	45	225	45	225
退職金	0	0	950	4,750	0	0	0	0	0	0	0	0
運営管理費	19,480	97,400	23,215	116,075	72,592	362,960	78,392	391,960	83,467	417,335	87,092	435,460
3. 資材支出												
運賃材支出	649	3,245	1,953	9,765	0	0	0	0	1,500	7,500	0	0
土地及び土	5,186	25,930	2,560	12,800	0	0	3,500	17,500	1,000	5,000	0	0
建物 構設	3,409	17,045	14,625	73,125	2,000	10,000	1,500	7,500	0	0	0	0
資材支出合	9,244	46,220	19,138	95,690	2,000	10,000	5,000	25,000	2,500	12,500	0	0
歳出合計	52,243	261,215	68,233	341,165	109,576	547,880	121,175	605,875	126,199	630,995	129,073	645,365

PHILIPPINE RICE RESEARCH INSTITUTE
TOTAL MANPOWER COMPLEMENT
AS OF MARCH 15, 1992

REGULAR EMPLOYEES (Including Casuals)	303
CONSULTANTS/PROGRAM/PROJECT/STUDY LEADERS	36
LABORERS	207
TOTAL	546

vvvvvvvvvv

附属資料 10. PhilRice スタッフ一覽

PHILIPPINE RICE RESEARCH INSTITUTE
SUMMARY OF PERSONNEL PROFILE
As of March 15, 1992

PROGRAM/DEPARTMENT	EDUCATIONAL ATTAINMENT							SCHOLARS
	(BS/AB)	MS	Ph.D	(With MS)	MS in	Phd in	Others*	
				Units	Progress	Progress		
I. OFFICE OF THE DIRECTOR	2	2	1	0	0	0	1	
A. Internal Control Unit	2	0	0	0	0	0	0	
B. Planning & Collaborative Programs Office	3	1	0	0	0	0	0	
C. Seed Production & Health Unit	6	0	0	1	0	1	3	1
D. Farm Operations Unit	1	0	0	1	0	0	1	
II. GENERAL ADMINISTRATIVE SUPPORT SERVICES								
A. Administrative	13	0	0	0	0	0	3	
B. Finance	9	0	0	0	0	0	1	
C. Physical Plant	2	0	0	0	0	0	0	
Infrastructure	1	0	0	0	0	0	1	
MotorPool	0	0	0	0	0	0	12	
Security Services	0	0	0	0	0	0	4	
III. RESEARCH DEPARTMENT								
A. Plant Breeding	16	3	0	1	5	4	1	7
B. Agronomy & Soils/ Farming Systems	10	2	2	0	1	2	1	3
C. Crop Protection	5	3	0	3	3	2	4	3
D. Rice Engineering & Mechanization	3	4	0	1	2	0	0	2
E. Social Science and Policy Research	6	3	1	0	3	1	0	4
F. Rice Chemistry and Food Science	8	0	0	0	1	0	1	
IV. TECHNOLOGY TRANSFER PROGRAM	2	0	0	0	0	0	0	
A. Technology Development	1	1	0	1	0	0	0	
B. Training	2	2	0	0	1	0	0	1
C. Communication	7	2	0	0	0	0	3	
D. Library & Documentation	2	1	0	0	0	0	0	

PROGRAM/DEPARTMENT	EDUCATIONAL ATTAINMENT							SCHOLARS
	(BS/AB)	MS	Ph.D	with MS Units	MS in Progress	Phd in Progress	Others*	
	V. MIOSAYAP	20	4	0	1	0	0	
VI. LOS BANCOS LIAISON OFFICE	16	1	1	0	0	0	5	
VII. AGUSAN EXPERIMENT STATION	3	0	0	0	0	0	0	
VIII. CARAYAN VALLEY EXPERIMENT STATION	12	0	0	5	0	0	18	
SUB - TOTAL	152	29	5	14	16	10	77	21

TOTAL NO. OF PERSONNEL 303
(Excluding Laborers) www

* Vocational, College (U), High School Graduates

PHILIPPINE RICE RESEARCH INSTITUTE
 LIST OF CONSULTANTS/PROGRAM & STUDY LEADERS
 As of March 15, 1992

NAME	POSITION/ASSIGNMENT	AGENCY	RATE/HONORAR: PER MONTH	EFFECTIVITY OF APPT. FROM	TO
A. CONSULTANTS					
1 DACAYO, Juliana B.	: Visiting Scientist	: Central Luzon State Univ.	: 13,295.00	: 01 Nov 91	: 31 Oct 92
2 ESCANO, Geminiano	: Special Assistant to : the Exec. Director	: Congress of the Phils.	: 4,750.00	: 01 Jan 91	: 31 Dec 92
3 NAVARRO, Rex I.	: Department Manager II - TTP	: Univ. of the Philippines-LB	: 12,650.00		
4 ONGKINGCO, Petronio S.	: Contrc Scientist; PFH-SP3	: Private	: Free	: 08 Jul 87	: 31 Dec 92
5 PABLICO, Sosimo Ma.	: Communication Consultant	: Mariano Marcos State Univ	: 7,500.00	: 01 Jul 90	: 30 Jun 92
6 REYES, Cecilia P.	: Post Doctoral Fellow	: Univ. of Southern Mindanao	: 8,250.00	: 01 Jun 91	: 29 Feb 92
7 RIVERA, Fernina T. *	: Visiting Scientist	: Central Luzon State Univ	: 13,295.00	: 01 Sep 90	: 29 Feb 92
8 TELAN, Iva F.	: Research Fellow		: 8,250.00	: 01 Jun 91	: 31 May 92
9 TEPORA, Justino	: Contractual Scientist	: Private	: 4,750.00	: 01 Jan 90	: 31 Dec 92
10 TRUONG, Hoaí Yuan	: Research Fellow	: National Tobacco Admin.	: 8,250.00	: 01 Jun 91	: 31 May 92
11 VEGA, Marcos	: Consulting Senior : Scientist	: Private	: Free	: 08 Sep 87	: 31 Dec 92
B. PROGRAM LEADERS					
12 CALLO, Damaso P.	: TTP-On-Farm Tech Dev't	: NCPC-UP at Los Banos	: 5,500.00	: 01 Jan 89	: 31 Dec 92
13 GARCIA, Arnulfo	: Rice-Based Farming System	: UP At LOs Banos	: 5,500.00	: Nov 87	: 31 Dec 92
14 HERNANDEZ, Jose E.	: Rice Varital Improvement	: UP Los Banos	: 5,500.00	: Nov 87	: 31 Dec 92
15 MEDINA, Jose R.	: Integrated Pest Wngt	: NCPC-UP at Los Banos	: 5,500.00	: Nov 87	: 31 Dec 92
16 ROLA, Agnes C.	: Soc Sci & Policy Res	: UP at Los Banos	: 5,500.00	: Nov 87	: 31 Dec 92
17 SAHONTE, Virginia Pb.	: Soc Sci & Policy Res	: CPDS-UP at Los Banos	: 5,500.00	: Nov 87	: 31 Dec 92
C. PROJECT LEADERS					
18 ADALLA, Candida B.	: RVI-09; NCT-Insect Scrng	: UP at Los Banos	: 1,500.00	: 01 Jan 89	: 31 Dec 92
19 BORRONEO, Teresita H.	: RVI-01; RVI-04; RVI-08	: UP at Los Banos	: 1,500.00	: 01 Jan 88	: 31 Dec 92
20 CARPENA, Azucena L.	: RVI-08B	: UP at Los Banos	: 1,500.00	: 01 Mar 91	: 31 Dec 92
21 CARPIO, Ernesto V.	: RCFS-03; 07	: UP at Los Banos	: 2,500.00	: 01 Nov 87	: 31 Dec 92
22 DEL MUNDO, Angelita M.	: RVI-12; RCFS-01; 04	: UP at Los Banos	: 1,500.00	: 01 Jan 88	: 31 Dec 92
23 DEL ROSARIO, Ricardo R.	: RFCS-06	: UP at Los Banos	: 1,500.00	: 01 Aug 88	: 31 Dec 92
24 JAVIER, Edwin L.	: RVI-05; 08C; 121D; 121D; 042 and 134	: UP at Los Banos	: 7,500.00	: 01 Apr 89	: 31 Dec 92
25 LAGIOS, Romeo V.	: RFS-01A; RFS-04	: UP at Los Banos	: 1,500.00	: 01 Jan 90	: 31 Dec 92
26 LAPIS, Delfin B.	: RVI-10; IPH-14;	: UP at Los Banos	: 2,700.00	: 01 Jan 88	: 31 Dec 92
27 MAGALLONA, Edwin	: Hand Book	: UP at Los Banos	: 1,000.00	: 01 Sep 91	: 31 Dec 92
28 SANCHEZ, Prescilla S.	: Proc/Util'n of Low Qty Rice and Rice by-products.	: UP at Los Banos	: 1,000.00	: 01 Oct 91	: 31 Dec 92
29 TEPORA, Wenita H.	: RVI-051; RVI-14	: Central Luzon State Univ.	: 1,000.00	: 01 Jan 90	: 31 Dec 92
30 VILLEGAS, Violeta H.	: RVI-08A	: UP at Los Banos	: 1,500.00	: 01 Jun 88	: 31 Dec 92
D. STUDY LEADERS					
31 CAYABAN, Ernesto	: RVI-042; 052	: UP at Los Banos	: 500.00	: 01 Jan 88	: 31 Dec 92
32 DAYO, Helen F.	: RFS-04	: UP at Los Banos	: 700.00	: 01 Sep 91	: 31 Dec 92
33 LALICAN, Danilo J.	: RVI-041; 021; 133	: NCPC, UPLB	: 1,500.00	: 01 Jan 88	: 31 Dec 92
34 LIMOSINERO, Rene L.	: RFS-04	: FSSRI, UPLB	: 500.00	: 01 Jan 91	: 31 Dec 92
35 LOPENA, Vitaliano	: RVI-12D	: UP at Los Banos	: 500.00	: 01 Jan 88	: 31 Dec 92
36 MONTESUR, Jaime G.	: RFS-01A	: UPLB	: 500.00	: 01 Jan 90	: 31 Dec 92

* Receives the same rate as her actual position in her mother agency.

PHILIPPINE RICE RESEARCH INSTITUTE
ROSTER OF PERSONNEL
As of March 15, 1982

NAME	HIGHEST EDUCATIONAL ATTAINMENT/SPECIALIZATION
I. ADMINISTRATIVE	
Santiago R. Obien	Ph.D. in Soil Science, Univ. of Hawaii
Ronilo A. Beronio	M.S. in Agricultural Economics, Purdue University
Vicente C. Rodriguez	M.S. in Agricultural Engineering, UPLB
Eleanor I. Retales	B.S. Commerce - Management, Southern Baptist College
Nestor C. Martin	B.S. Commerce - Accounting, CPA Board Passer
Luz Belen C. Prollamanta	A.B. in Economics, Univ of Sto Tomas
Carlito U. Catala	B.S. Commerce - Accounting, CPA Board Passer
Gloria M. Evangelista	B.S. Commerce - Management, Univ of San Carlos
Renato B. Bajit	B.S. in Architecture, Board Passer
Lorenzo S. Alvaran	B.S. in Commerce - Management
Charina T. Tohias	B.S. Commerce - Accounting, PSBA, Cum Laude, CPA Board Passer
Virginia F. Recta	M.S. in Statistics, UPLB
Teodora L. Briones	B.S. Statistics, UPLB
Julius Caesar V. Sicat	BS Agr'l Eng'g, Cum Laude, CLSU, Board Passer
Rogelio P. Limuaco	BS Agriculture, Araullo Univ
Frisco M. Malabanan	PhD Seed Technology (Ongoing), UPLB
Errol V. Santiago	MScrop Protection - Thesis, CLSU
Sasinando C. Constantino	MS Agri Eng'g. (Ongoing), CLSU
II. RESEARCH	
A. RICE VARIETAL IMPROVEMENT	
Hilario C. dela Cruz Jr	MSPlant Breeding (Completed Coursework), UPLB
Edilberto D. Redona	PhD Plant Breeding (Ongoing), UC Davies, PhilRice/ Rockefeller Scholar, BSA Magna Cum Laude
Raul J. Lara	MS Agronomy-Hybridization, UPLB
Ma. Theresa B. Peralta	MSAgronomy-Crop Physiology, UPLB
Renando O. Solis	MS Plant Breeding (Ongoing), UPLB, PhilRice Scholar
Virgilio C. Andaya	MS Plant Breeding (Ongoing), UPLB, PhilRice Scholar
John C. de Leon	BSA Agronomy/Plant Breeding, UPLB
Thelma F. Padolina	MScrop Science (Ongoing), CLSU
Emily R. Corpuz	MScrop Science (Ongoing), CLSU
Artemio M. Galvez	MS Agronomy, UPLB
Leocadio S. Sebastian	PhD Plt Breeding-Genetics (Ongoing), Cornell Univ PhilRice/Rockefeller Scholar
Loida C. Malijan	MS Horticulture, UPLB
Rico A. Caldo	BSA/Plant Breeding, UPLB
Edwin J. Quintana	BSA\Agronomy, UPLB
Gabriel O. Romero	PhD Biotechn-PltBreeding(Ongoing), UC Davies, PhilRice/Rockefeller Scholar
Cynthia C. Bato	MS Horticulture (Ongoing), Cum Laude, UPLB, PhilRice Scholar
Antonio A. Alfonso	BS Biology, Cum Laude, CLSU
Rodante E. Tabian	PH D Plant Breeding (Ongoing), A&M Univ., PhilRice/ Rockefeller Scholar

NAME	HIGHEST EDUCATIONAL ATTAINMENT/SPECIALIZATION
------	---

B. PLANTING AND FERTILIZER MANAGEMENT

Pompe C. Sta. Cruz	PhD Agronomy-Crop Physiology, UPLB
Teodila M. Metra	PhD Soil Chemistry, UPLB
Rhodora R. Aldemita	PhD Plant Physiology (Ongoing), Purdue Univ, PhilRice/Rockefeller Scholar
Constancio A. Abis, Jr.	BSSoils Science, Cum Laude, VisCA
Wilma N. Obcemea	PhD Soil Science (Ongoing), Griffith Univ., PhilRice/Rockefeller Scholar
Jocelyn B. Bajita	MS Soil Science (Ongoing), UPLB, PhilRice/ Rockefeller Scholar, BSA/Soil Science, Cum Laude
Jovino L. De Dios	BSA Soil Science-Soil Fertility, CLSU
Fernando D. Garcia	B.S. in Agronomy, CLSU
Ma. Victoria L. Rivera	BSA\Soil Science, UPLB

C. RICE-BASED FARMING SYSTEMS

Rolando O. Retales	MScrop Science, CLSU
Wilma A. Cristobal	MS Agr'l Systems (Ongoing), Asian Institute of Technology BSA\Agronomy, CLSU, Cum Laude

D. INTEGRATED PEST MANAGEMENT

Florentino M. Olivares Jr.	MS Plant Pathology/Entomology, UPLB
Alejandra T. Burdeos	Ph D Entomology (Ongoing), UPLB
Gilely C. Santiago	MS Entomology - 25 units, CLSU
Gerardo F. Estoy	MS Entomology - 12 units, VisCA
Genaro S. Rillon	MS Entomology, UPLB, BSA Entomology, Cum Laude
Lina B. Flor	BSA Entomology, Cum Laude, Univ of Southern Mindanao
Hilario D. Justo Jr.	PHD Entomology (Ongoing), Clemson Univ, PhilRice/ Rockefeller Scholar
Ferdinand V. Salazar	BSEntomology, Cum Laude, UPLB
Arthur R. Baria	MS Plant Pathology (On-going), UPLB, PhilRice Scholar
Hilario C. Cabanilla	MS Agronomy, MV Gallego Foundation College
Truong Hoai Xuan	Ph.D. in Plant Pathology (Virology), UPLB
Ivan F. Telan	Ph.D. in Entomology, UPLB

E. RICE ENGINEERING AND MECHANIZATION

Eulito U. Bautista	MS Agr'l Engineering, UPLB, Board Passer
Federico R. Recta	MS Agr'l Engineering, UPLB, Board Passer
Evangelina B. Sibayan	MSAgri Eng'g. (Ongoing), CLSU, Board Passer
Manuel Jose C. Regalado	MSAgri Eng'g., UPLB, Board Passer
Bernardo D. Tadeo	MS Agr'l Engineering, Asian Institute of Tech. BSAgr'l Eng'g, Magna CUM Laude, Board Passer
Eden C. Gagelonia	MS Agr'l Eng'g (Ongoing), CLSU, Board Passer

F. SOCIAL SCIENCE & POLICY RESEARCH

Daniilo C. Israel	PhD in Applied Economics, Clemson University
Sergio R. Francisco	PhD Agri Economics (Ongoing), UPLB, PhilRice Scholar
Jocelyn Q. Alejandrino	MSAgricultural Economics, UPLB
Ronaldo A. Sison	MSAgr'l Econ (Ongoing), UP-Diliman, PhilRice Scholar

NAME	HIGHEST EDUCATIONAL ATTAINMENT/SPECIALIZATION
Gemma A. Gundaya	BSAgricultural Economics, Cum Laude, VISCA
Rogelio D. Cosio	BSAgricultural Economics, Summa Cum Laude, PAC
Carlos R. Carlos	MSRural Sociology, UPLB
Girllie Nora A. Abrigo	MS Sociology(Ongoing), UP-Diliman, PhilRice Scholar
Nina K. Torreta	MS Sociology(Ongoing), UP-Diliman, PhilRice Scholar
Irene R. Tanzo	AR Sociology, UPLB
Ma.Isabel Zinia T.Azanza	BS Statistics, UPLB
G. RICE CHEMISTRY & FOOD SCIENCE	
Leslie J. Togado-Referos	MSChemistry (Ongoing), Univ of Sto Tomas
Juma Novia B. Ayap	BS Biology-Microbiology, UPLB, Cum Laude
Riza G. Abilgos	BS Nutrition, UPLB, 3rd Placer Dietitian Board Exam
Elenita I. Labios	BS Food Technology, UPLB
Merry Evelyn M. Abit	B.S in Food Technology, Cum Laude, VISCA
H. TECHNOLOGY TRANSFER PROGRAM	
Wilfredo H. Libunao	MSCrop Science (25 Units), CLSU
Ruben B. Miranda	BSAgriculture/Crop Protection, CLSU
Zyla C. Macasieb	MSExtension Education, UPLB
Diego G. Ramos	MSExtension Education, UPLB
Constante T. Briones	ABMass Communication, Divine Word Univ
Roger F. Barroga	MSDev Comm, UPLB
Karen Eloisa R. Tanzo	MSDev Comm, UPLB
Arlaen Robert E. Bacilit	BSDev Comm, UPLB
Lea R. Abaoag	BSDev Comm, UPLB
Elaine E. Joshi	MS Library Science, UPLB
III. MIDSAYAP BRANCH	
George Z. Castro	BS Soil Science
Rodrigo N. Casco	MS Entomology
Evelyn B. Tabalin	MS Agronomy-Hybridization, UPLB
Teresita G. Labio	MS Agronomy (Units), UPLB, PhilRice Scholar
Gerald B. Ravelo	BSA-Plant Breeding, Cum Laude, Univ of Southern Mindanao
Remedios B. Panaguiton	BS Agriculture
Rodolfo S. Escabarte	BSA-Soil Science, Cum Laude, Univ of Southern Mindanao
Eliseo H. Batay-an	MS Entomology, UPLB
Ma. Rufelie R. Sotes	BSA-Plant Pathology, Cum Laude, Univ of Southern Mindanao
Albino B. Nalitan	MS Crop Production & Mngt, Univ of Southern Mindanao
IV. LOS BANOS LIAISON OFFICE	
Nacitas B. Malabanan	BSC-Accounting, Far Eastern Univ, CPA Board Passer
Minda M. Vila	BSA Agronomy, UPLB
Prem Nath Maini	PhD Chemistry, UPLB
Paulino L. Sanchez	BSA\Agronomy, UPLB
Lourdes D. Dimaranan	BSFood Technology, UPLB
Adelaida M. Gonzales	BSAgricultural Engineering, UPLB

NAME	HIGHEST EDUCATIONAL ATTAINMENT/SPECIALIZATION
------	---

V. AGUSAN EXPERIMENT STATION

Alberto J. Pajarito	B.S. in Agr'l Technology
---------------------	--------------------------

VI. GAGAYAN VALLEY EXPERIMENT STATION

Domingo T. Blanco	BS Agricultural Engineering
Yolanda P. Sosa	BSA, MMPA, MS Uniba
Romelito O. Ignacio	BS Agriculture

=====

PhilRice スタッフ研修計画

PHILIPPINE RICE RESEARCH INSTITUTE
PERSONNEL DEVELOPMENT PROGRAM
As of March 15, 1992

A. Degree Program

NAME	AGENCY	POSITION	MS	PHD	SPECIALIZATION	PERIOD OF SCHOLARSHIP	SCHOOL	SPONSORING	REMARKS
I. ON-GOING SCHOLARS									
1. Abrigo, Girlie Nora A.	PhilRice	Sci Res Spec	X		Sociology	June 1991 to May 1993	UP-Diliman	PhilRice	
2. Aldemita, Rhodora R.	PhilRice	Sr. Sci Res S		X	Plant Physiology	September 1990 to August 1993	Purdue Univ	Rockefeller	
3. Andaya, Virgilio C.	PhilRice	SRS II	X		Plant Breeding	June 1991 to May 1993	UPLB	PhilRice	
4. Bajita, Jocelyn B.	PhilRice	SRS II	X		Soil Science	June 1991 to May 1993	UPLB	PhilRice	
5. Baria, Arthur R.	PhilRice	SRS II	X		Plant Pathology	November 1990 to October 1992	UPLB	IRRI	
6. Bato, Cynthia C.	PhilRice	SRS II	X		Plant Breeding	June 1991 to May 1993	UPLB	PhilRice	
7. Burdeos, Alejandra T.	PhilRice	Sr SRS		X	Entomology	June 1991 to May 1994	UPLB	PhilRice	
8. Francisco, Sergio R.	PhilRice	Sr SRS		X	Statistics	November 1989 to October 1992	UPLB	PhilRice	
9. Gagelonia, Eden C.	PhilRice	SRS II	X		Agri'l Eng'g	Nov 1991 to Oct 1992	CLSU	PhilRice	New scholar.
10. Garcia, Florida C.	CLSU	Asst Prof		X	Soil Science\ Microbiology	January 1992 to December 1993	UPLB	PhilRice	Thesis Support
11. Justo, Hilario Jr. D.	PhilRice	Sr Analyst		X	Entomology	Aug 1991 to July 1994	Clemson Univ	Clemson	
12. Matabanan, Frisco M.	PhilRice	Sr SRS		X	Seed Technology	Nov 1990 to Nov 1993	UPLB	PhilRice	

NAME	AGENCY	POSITION	MS	PHD	SPECIALIZATION	PERIOD OF SCHOLARSHIP	SCHOOL	SPONSORING	REMARKS
13. Mascarinas, Arnulfo M.	DA-Reg V	Agri Prod Techn			x Community Development	June 1991 to May 1994	UPLB	Philrice	
14. Navarro, Rex L.	UPLB/Philrice	Dept. Mngr II			x Ph D Public Admin (thesis support)	November 1990 to October 1991	UP-Diliman	IPRT	
15. Nicor, Hersie C.	USM				x Plant Physiology	June 1989 to June 1992	UPLB	Philrice	
16. Obcemea, Wilma N.	Philrice	Sr Analyst			x Soil Science	July 1991 to June 1994	Griffith University	Australian Gov't.	
17. Radona, Edilberto O.	Philrice	Sr SRS			x Plant Breeding/Genetics	September 1990 to August 1993	UC Davies	Rockefeller	
18. Romero, Gabriel O.	Philrice	Sr SRS			x Plant Breeding	October 1989 to August 1992	UC Davies	Rockefeller	
19. Sales, Hector M.	BRIARC-DA	Agriculturist & Chief Admin			x Agr'l Economics	April 1991 to March 1994	UPLB	Philrice	New Scholar
20. Sebastian, Leocadio S.	Philrice	Sr SRS			x Plant Breeding/Genetics	September 1990 to August 1993	Cornell Univ	Rockefeller	
21. Sibayan, Evangelina B.	Philrice	Sr SRS			x Agricultural Engineering	June 1991 to May 1991	CLSU	Philrice	
22. Sison, Ronaldo A.	Philrice	SRS I			x Agricultural Economics	April 1991 to March 1993	UP-Diliman	Philrice	
23. Solis, Renando O.	Philrice	SRS II			x Plant Breeding	June 1990 to May 1992	UPLB	Philrice	
24. Tabien, Rodante E.	Philrice	Sr Analyst			x Plant Breeding/Biotechnology	Aug 1991 to July 1994	Texas A&M	Rockefeller	
25. Tamsyao, Rufino Z.	Philrice	SRS I			x Extension Education	Nov 1991 to Oct 1993	UPLB	Philrice	New Scholar.
26. Torteta, Nina K.	Philrice	SRS II			x Sociology	June 1991 to May 1993	UP-Diliman	Philrice	

NAME	AGENCY	POSITION	MS	PHD	SPECIALIZATION	PERIOD OF SCHOLARSHIP	SCHOOL	SPONSORING	REMARKS
II. FORMER SCHOLARS									
1. Gato, Efrén	UEP	Researcher		x	Agromomy	May 1990 to Nov 1990	CLSU	PhilRice	Graduated
2. Garcia, Blanquita M.	-			x	Plant Breeding	School Year 1988-1991	UPLB	PhilRice	Contract terminated in January 1991.
3. Garcia, Fernando D.	PhilRice	SRS I	x		Soil Science	School Year 1991-1993	UPLB	PhilRice	Not finished requested to report back to work.
4. Itagan, Evangelina D.	PhilRice	SR Analyst	x		Family Resource Management	June 1989 to May 1990	UPLB	PhilRice	Not finished requested to report back to work.
5. Metra, Teodula M.	PhilRice	Supvg SRS		x	Soil Science	Jan 1990 to June 1990	UPLB	PhilRice	Extended for 3 months; Graduated 1990.
6. Naitap, Albino	PhilRice	SR Analyst	x		Crop Production & Management	June 1988 to May 1990	USM	PhilRice	Graduated May 1990.
7. Quintana, Jocelyn T.	PhilRice	Sr SRS	x		Agricultural Economics	June 1989 to May 1990	UPLB	PhilRice	Graduated May 1990.
8. Revilla, Imelda M.	PhilRice	Sr SRS	x		Agricultural Economics	June 1989 to May 1990	UPLB	PhilRice	Graduated May 1990.
9. Tadeo, Bernardo D.	PhilRice	SRS II	x		Agricultural Engineering	January 1989 to January 1991	AIT	AIT	Graduated August 1990.
10. Barraga, Roger F.	PhilRice	Sr SRS	x		Development	June 1989 to May 1991	UPLB	PhilRice	Graduated May 1991.

NAME	AGENCY	POSITION	MS	PND	SPECIALIZATION	PERIOD OF SCHOLARSHIP	SCHOOL	SPONSORING	REMARKS
11. Carlos, Carlos B.	PHIRICE	SRS II	X		Rural Sociology (Thesis Support)	June 1980 to June 1991	UPLB	PHIRICE	Graduated May 1991.
12. Labio, Teresita G.	PHIRICE	SRS I	X		Agronomy	June 1990 to May 1992	UPLB	PHIRICE	Didn't meet grade requirement, reported back to MES.
13. Leano, Rufino M.	NVSIT	Instructor	X		Plant Pathology	June 1989 to May 1991	UPLB	PHIRICE	Finishing thesis requirement.
14. Ramos, Diego G.	PHIRICE	SRS II	X		Extension Education	June 1989 to May 1991	UPLB	PHIRICE	Graduated May 1991.
15. Regalado, Manuel Jose C.	PHIRICE	SRS II	X		Agricultural Engineering	June 1989 to May 1991	UPLB	PHIRICE	Finishing thesis requirement.
16. Rillon, Genaro S.	PHIRICE	SRS I	X		Entomology	June 1989 to May 1991	UPLB	PHIRICE	Finishing thesis requirement.
17. Tanzo, Karen Eloisa R.	PHIRICE	SRS II	X		Development Communication	June 1989 to May 1991	UPLB	PHIRICE	Graduated May 1991.
18. Bonilla, Philbert S.	PHIRICE	Sr SRS		X	Plant Breeding	November 1989 to October 1992	UPLB	PHIRICE	Resigned from PHIRICE effective Oct 1, 1991.
19. Valdez, Josie	TDA	AGR'l Engr.		X	AGR'l Engr.	1990	CLSU	PHIRICE	Graduated

JICA